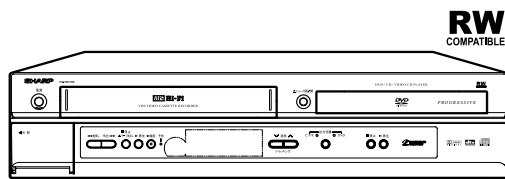
SHARP®

# 取扱説明書

ビデオ一体型
DVDプレーヤー

形名 DV-NC700（ディー ブイ エヌ シー）

はじめに
接続
設定
ビデオ編
DVD編
故障かな？
その他

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。（4ページ）
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

# もくじ

## はじめに



## 接続・設定のしかた



## ビデオを再生する



## ビデオに録画する



## ビデオの便利な機能



## 再生のしかた



## いろいろな再生

## 再生中の切りかえ



## MP3／JPEG



## 再生中の情報を見る（画面表示）



## 設定をかえる（セットアップ）



## 故障かな？と思ったときは



## その他



### ― アナログ放送からデジタル放送への移行について ―

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

# 安全にお使いいただくために



**ご使用の前に**　「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
| ⚠注意 | 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。 |

**図記号の意味**

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。

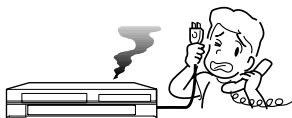
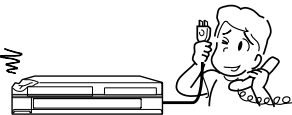
❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

## ⚠警告

### ■異常が発生したときは電源プラグを抜く

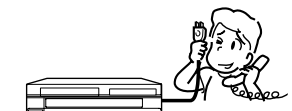
**煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く**

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

**内部にものや水などを入れない**

異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

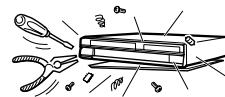
電源プラグを抜く

### ■ご使用になるとき

**キャビネットは絶対に開けない**

感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

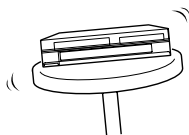
分解禁止

**異物を入れない**

本機の開口部(通風孔、ディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

禁止

# ⚠警告

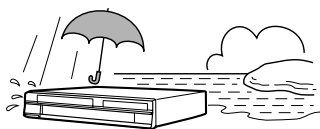
### 不安定な場所に置かない

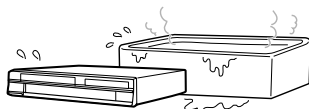
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。

### 本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

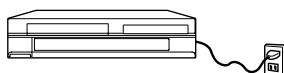
水ぬれ禁止

水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室
での使用禁止

### 表示された電源電圧で使用する

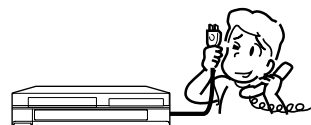
表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

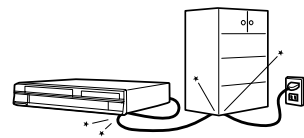
100V使用

## ■電源コード・プラグの取扱いについて

### 電源コードを破損するようなことはしない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

### 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

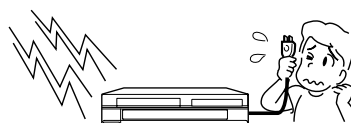
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

### 雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

次ページへつづく

# 安全にお使いいただくために

## ⚠注意

### ■設置や移動にあたってのご注意

**重いものを置かない**

本機に乗らないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

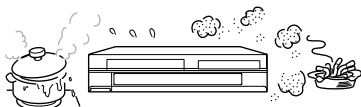
禁止

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

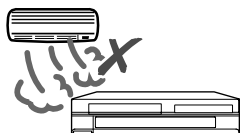
禁止

**油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない**

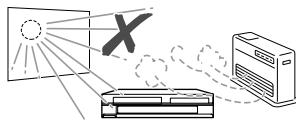
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

**冷気が直接吹きつけるところや極端に寒いところには置かない**

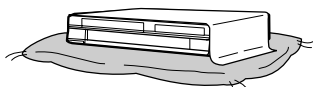
つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

**直接日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない**

内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

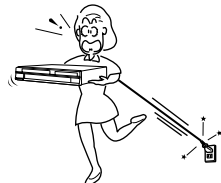
禁止

**本機の通風孔をふさがない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

禁止

- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

**移動させるときは必ず接続コードをはずす**

移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
またディスクやテープは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

禁止

移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

### ■電源コード・プラグの取扱いについてのご注意

**電源コードを熱器具に近づけない**

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

**テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜く**

電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

**電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

# ⚠注意

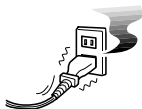
### 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、刃にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

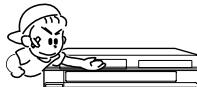
### 電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

## ■ お使いになるときのご注意

### ディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口に手を入れない

小さなお子さまがディスクトレイ開閉口やビデオテープ挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

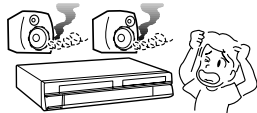
注意

### ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

飛び散ってけがの原因となることがあります。

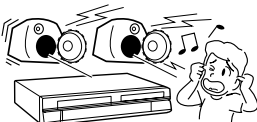
禁止

### 長時間、音がゆがんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

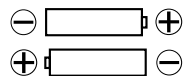
禁止

### 電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

## ■ 電池の取扱いについてのご注意

### 電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意する

間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

### 指定以外の電池や新しい電池と古い電池をまぜて使用しない

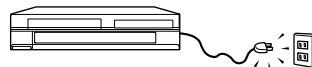
電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

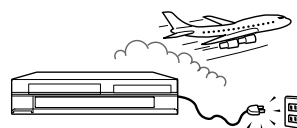
## ■ お手入れや長期間使用しないときのご注意

### お手入れのときは電源プラグを抜く

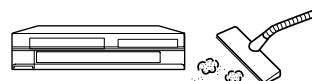
安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### 旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### 3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

# 使用上のお願い

## 結露(つゆつき)について

**■結露ってどうなるの？**

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。
これを**結露（つゆつき）**とよびます。
本機を

- ●寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき。
- ●暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
- ●湿気の多いところで使うとき。
- ●エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。

など、内部で**結露**が起こったり、内部のレンズにつゆ(水滴)がつき、正しく動作しないことがあります。

**■よく乾燥させてからお使いください。**

このようなときは、**電源ボタン**を「**入**」にしたまま、**しばらく乾燥のため放置して**、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると、正常に動作するようになります。

**■結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。**

本機を移動させたあとなどはすぐに使用せず、**電源ボタン**を「**入**」にしたまま、しばらくは乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

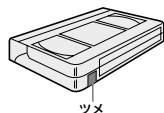
## ディスクの取り扱い

- ■再生面(虹色に光っている面)に触れないように持ちます。
- ■紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- ■直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
- ■使用後は、**所定のケースに入れて、立てて置いてください**。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
- ■指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
- ■お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。
- ■ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ■再生可能なディスクについては**12ページを参照してください。**

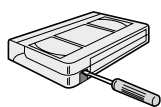
## ビデオカセットテープについて

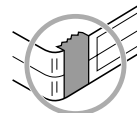
本機のビデオデッキは VHS 方式です。 VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

### 大切な録画テープを誤って消さないように…

**誤消去防止用のツメ**

- カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。

ツメ

**誤って消さないために…**

- ドライバーなどでツメを折ります。(ツメ折れテープは録画できません)

**ふたたび録画したいとき…**

- セロハンテープを二重に貼りめくれないようにしてください。

### テープの保管は…

- ● 次のような場所に保管された場合、テープを傷める場合があります。
  - 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
  - 直射日光が当たるところやストーブの近く
  - 磁気の発生するところ
- ● 落としたり衝撃を与えないでください。
- ● ケースに入れて保管してください。

### 録画時間について…

- ● 標準：画質優先の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間を録画することができます。
- ● 3倍：長時間録画の場合に使用するモードです。テープに表示されている時間の3倍の時間を録画することができます。

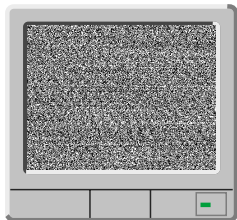
| テープの種類 | 標 準 | 3 倍 |
|---|---|---|
| T-60 | 60分 | 180分 |
| T-120 | 120分 | 360分 |
| T-160 | 160分 | 480分 |
| T-180 | 180分 | 540分 |

**このようなテープは使わないでください！**

■ヘッドのよごれ・目詰まり、テープのからみなど、故障の原因になります。

| 粘着物、ジュースなどが付いたテープ | カビが生えたテープ | つないだテープ | 分解したテープ |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |

**映像が映らないとき…**

● 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販されている「クリーニングテープ」で、ヘッドクリーニングを定期的に行ってください。

"ノイズ"だけの映像

"ブルー"一色の映像

"ノイズ"が入った映像

● ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

**オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について**

● **オートヘッドクリーニング機能について**
カセットテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープでヘッドクリーニングを行なってください。（ただし、取りきれない汚れもあります。）

● **ビデオヘッドの点検について**
美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度/湿度/ほこり)などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ**1000時間**を目安に点検・清掃されることをおすすめします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

● **ビデオヘッドの交換について**
ビデオヘッドは消耗部品です。ビデオヘッドは高速で回転しながらテープと接触し画像を録画・再生します。そのために長期にわたるテープとの摩擦によりビデオヘッドは磨耗してきます。再生画像が乱れたりクリーニングテープでヘッドクリーニングしても改善しない場合は、ビデオヘッドの磨耗が考えられ交換が必要になります。**お買い求めの販売店にご相談ください。**

## 市販テープ・レンタルテープのダビングについて

**市販のテープやレンタルテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。**

● **あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

## テープ内容補償・ご注意について

● **万一本機およびビデオカセット等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。**

## トラッキング調整について

ほかのビデオで録画したテープを本機で再生すると、映像にノイズが発生する場合があります。その調整を行うのが、トラッキング調整で、デジタル調整(自動)とマニュアル調整(手動)の2つの方法があります。初期状態ではテープを再生するとデジタルトラッキング調整が自動的に行われますが、ノイズが少なくならない場合はマニュアルトラッキング調整をしてください。

**デジタルトラッキング調整**

● 再生中、自動的に調整します。

**マニュアルトラッキング調整**

● デジタルトラッキング時にテレビ画面を見ながら、ノイズが最も少なくなる状態まで選局ボタンを押して調整してください。画面ノイズの発生状況は録画テープにより異なります。（ノイズが少なくなるまで、選局ボタンを数回押すか、押し続けてください。）
  • 再生中に停止ボタンを押し、もう一度再生ボタンを押す。またはビデオカセットテープを入れ直すとデジタルトラッキングに戻ります。

## アンテナについて

● 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
● 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
● アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

次ページへつづく

# 使用上のお願い

## ご注意

- 本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、映像または、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。
- 次のような場合に、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、テレビと本機を離してください。
  - 本機の上に、テレビを直接置いたとき。
  - テレビの上に、本機を直接置いたとき。

## 本機の置き場所や取り扱い

**■高温状態をさけてください。**
窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

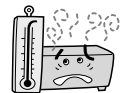
**■砂に注意しましょう。**
砂浜や砂ぼこりの多いところで使用する場合は、砂などが内部に入らないようにしてください。

■携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するものの近くに置かないでください。電波の影響で本機が動かなくなります。

■テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビから離してください。

■ご使用にならないときは、必ず**停止ボタン**を押してからディスクを取り出し、電源を切ってください。

■長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

**■国外では使えません。**
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

## リモコンの取り扱い

**■乾電池の交換時期**
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。すべて同時に新品に交換し、新旧をまぜて使用することは避けてください。付属の乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

**■リモコン保管時のご注意**
長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。

## 本機やリモコンのお手入れ

**■ベンジン、シンナーなどでふかないでください。**
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール/ベンジン/シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

■キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、渇いた布で仕上げてください。

■化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書にしたがってください。

■キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

**■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

## レーザーピックアップについて

■この取扱説明書の該当部分と、**故障かな？と思ったときは**をよくお読みになり、操作を行っても正常に動作しない場合は、**レーザーピックアップが汚れている**可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

## 修理について

■本機が動作しなくなった場合は、**ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

## リサイクルについて

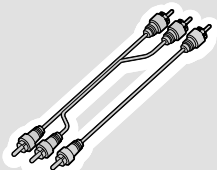
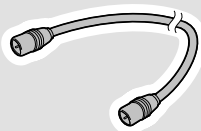
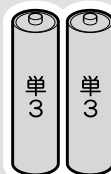
本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

## 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

## 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力(525p/480p)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、映像設定で"プログレッシブ"を"オフ"にし、本体表示部の"P.SCAN"を消灯させてください。

## 付属品(必ずお確かめください)

リモコン　映像・音声コード　同軸ケーブル　単3乾電池(2個)　取扱説明書・保証書

## この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

**DVD** DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。(本文ではDVDと表現します。)

**DVD-RW** VRフォーマット　DVD-RWのVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録のディスクで楽しめる機能を表します。

**CD** オーディオCDで楽しめる機能を表します。

**VCD** ビデオCDで楽しめる機能を表します。

**MP3** MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

**JPEG** フジカラーCDなどのJPEGが記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

操作上、気をつけていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

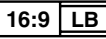
# ディスクについて

## 再生できるディスク

| ディスクの種類 | ディスクの内容 | ディスク盤大きさ |
|---|---|---|
| **DVDビデオディスク** リージョン番号 2 ALL DVD VIDEO<br>上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク | 音　声＋映像(動画) | 12cm盤<br>8cm盤 |
| **DVD-R/DVD-RW**<br>DVDレコーダーで記録されたディスク DVD R / DVD RW | 音　声＋映像(動画) | 12cm盤<br>8cm盤 |
| **ビデオCD**<br>NTSC方式のビデオCD VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO | 音　声＋映像(動画) | 12cm盤<br>8cm盤 |
| **音楽用CD** COMPACT disc DIGITAL AUDIO | 音　声 | 12cm盤<br>8cm盤（シングル） |
| **CD-R/CD-RW**<br>音楽CD/MP3ファイル形式で記録されたディスク COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable | 音　声 | 12cm盤<br>8cm盤 |
| **CD-R/CD-RW**<br>JPEGファイル形式で記録されたディスク COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable | 静止画像 | 12cm盤<br>8cm盤 |
| **フジカラーCD** FUJICOLOR CD COMPATIBLE | デジタル画像 | 12cm盤 |

・ディスクレーベル面に上記ロゴマークが入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合は、再生できない場合があります。
また、再生できた場合でも、画質、音質の保証は致しかねます。
・ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のピックアップの状態により再生ができない場合があります。

**DVD-R/RWディスクの再生について**

・再生できるDVD-Rディスクは、ビデオフォーマットで記録されているディスクです。
・再生できるDVD-RWは、ビデオフォーマットまたはVRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されているディスクです。
・DVD-R/RWディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
・ビデオフォーマット、VRフォーマット、ファイナライズ等、DVD-R/RWについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

RW COMPATIBLE この表示は、DVDレコーダーでVRフォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します（CPRM対応）。

ちょっと一言！
DVDビデオディスク

● 本機のDVDプレーヤーは、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどの、ほかの方式で記録されたディスクは再生できません。
● DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

## DVDビデオディスクに表示されている マーク

| マーク | 説明 | マーク | 説明 |
|---|---|---|---|
| **音声記録方式** 4 | 複数の音声トラックが収録されていることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、ディスクに収録されている音声数を示します。 | **マルチアングル機能表示** 2 | マルチアングル機能を有するディスクであることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、アングル数を示します。 |
| **サブタイトル表示** 2 | ディスクに収録されている字幕言語数を示すマークです。<br>マーク内に記載されている数字は、字幕言語数を示します。 | **映像アスペクト比表示** 16:9 LB | アスペクト比切り替え可能な画面タイプを示すマークです。 |
| **リージョン番号**<br> | 再生可能地域番号を表示しています。 | | |

ちょっと一言！
■ 上記のディスク以外は再生できません。
■ 8cmアダプター（オーディオCD用）は使わないでください。故障の原因となります。
■ DVD-R/RW、CD-R/RWを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

## ディスクの構成

DVD  

ディスク上のデータは、**タイトル**とよばれる部分に分けられており、また各**タイトル**は、**チャプター**というさらに小さな部分に分けられ、それぞれにタイトル番号またはチャプター番号が与えられています。
一部のディスクでは、再生条件があらかじめ設定されており､お客様の操作よりもこの再生条件の方が優先されます。ご自分が選択した機能が希望どおりに実行されない場合には、ディスクに付属されている説明書をお読みください。

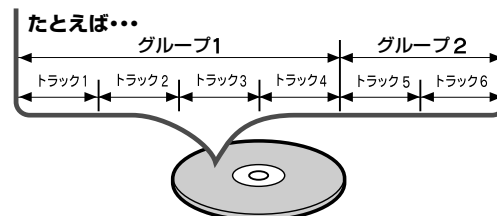
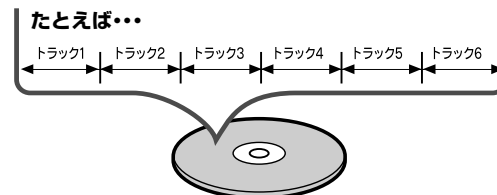
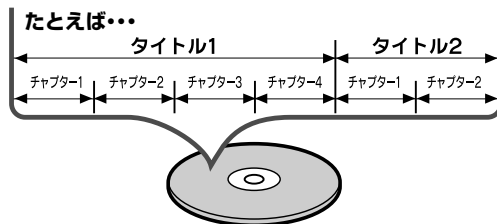
たとえば・・・
タイトル1 タイトル2
チャプター1 チャプター2 チャプター3 チャプター4 チャプター1 チャプター2

**オーディオCD**
**ビデオCD**

オーディオCDやビデオCD上のデータは、**トラック**とよばれる部分に分けられ、それぞれにトラック番号がつけられています。

たとえば・・・
トラック1 トラック2 トラック3 トラック4 トラック5 トラック6

**CD-R/RW（MP3/JPEGファイル形式）**

CD-R/RWに記録されているMP3およびJPEGのデータは**グループ**とよばれる部分に分けられ、**各グループ**は**トラック**とよばれる小さな部分に分けられています。MP3またはJPEGデータ作成の際、アルバムやトラックは**階層**に分けて記録させることができます。（記録方法はMP3レコーダなどの説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

### ビデオCDについて

ビデオCDには下記の2種類のソフトがあり、それぞれ操作や機能が違います。

■ PBC対応でないソフト（バージョン1.1）
　音楽用CDと同様に操作します。映像と音楽が再生できます。
■ PBC対応ソフト（バージョン2.0）
　対話型、検索機能などソフト固有のメニューがついており、メニュー画面にしたがって多様な再生ができます。

- PBCとはプレイバックコントロールの略称です。
- ビデオCDバージョン2.0（PBC対応ソフト）には、再生をコントロールするための信号が記録されています。本機でPBC対応ソフトを再生すると、PBC機能により、ディスク固有のメニュー画面を使って動画や静止画再生を可能にします。
- PBC（プレイバックコントロール）対応ソフトはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明書にしたがってください。
- PBC対応ソフトは説明書やケースに種類が記されています。

**ご注意**

- PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、機能しません。

# おもな特長

## ビデオ

**ステレオ音声多重機能 [ ➡ 55ページ]**
- ●ステレオサウンドや音声多重放送を楽しむことができます。

**CATV対応チューナー [ ➡ 32ページ]**
- ●C13ch～C63chまでのフルバンドを受信できます。

## DVD

**ドルビーデジタル [ ➡ 100ページ]**
- ●ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

**DTS(デジタルシアターシステム) [ ➡ 100ページ]**
- ●デジタルシアターシステムズ社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

**早送り、早戻し、静止、コマ送り再生、スロー再生 [ ➡ 64、66～68ページ]**
- ●静止画再生、早送り再生、早戻し再生、スロー再生、コマ送り再生などの再生ができます。

**ランダム再生(オーディオCD) [ ➡ 72ページ]**
- ●本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

**プログラム再生(オーディオCD) [ ➡ 71ページ]**
- ●本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

**早見・早聞き／遅見・遅聞き再生 [ ➡ 67ページ]**
- ●早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

**DVDメニュー言語切り換え [ ➡ 92ページ]**
- ●DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

**希望する言語で字幕を表示 [ ➡ 92ページ]**
- ●希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

**カメラアングルの選択 [ ➡ 81ページ]**
- ●異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

**音声言語とサウンドモードの選択[ ➡ 79、99～101ページ]**
- ●複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

**パレンタル設定 [ ➡ 101ページ]**
- ●パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

**ディスクの自動判別**
- ●DVD、ビデオCD、オーディオCD、MP3/JPEGディスク(CD-R/RW)を自動的に判別して再生します。

**スクリーンセーバー**
- ●何も操作しない状態が5分以上続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。

**MP3/JPEG再生 [ ➡ 83ページ]**
- ●CD-RやCD-RWに記録されたMP3/JPEGファイルを再生することができます。

**バーチャルサラウンド [ ➡ 90ページ]**
- ●バーチャル(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

**DVD-RW(VRフォーマット)ディスク再生**
- ●VRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。

**プログレッシブ[ ➡ 23ページ]**
- ●接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。

**画面表示 [ ➡ 89ページ]**
- ●各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

**ダイレクト再生 [ ➡ 76ページ]**
- ●チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターを頭出しすることができます。
- ●タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルを頭出しすることができます。
- ●トラックサーチ（＊1）：
  ユーザーが指定したトラックを頭出しすることができます。
- ●タイムサーチ（＊1）：
  ユーザーが指定した時間を頭出しすることができます。

**リピート [ ➡ 69ページ]**
- ●チャプター：
  再生中のディスクのチャプターを繰り返して再生することができます。
- ●タイトル：
  再生中のディスクのタイトルを繰り返して再生することができます。
- ●トラック：
  再生中のディスクのトラックを繰り返して再生することができます。
- ●オール（オーディオCD、MP3、JPEG、ビデオCD（＊1）、DVD-RW（VRフォーマット））：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- ●A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。

**ズーム [ ➡ 82ページ]**
- ●×2または×4に拡大した画面を表示させることができます。

**マーカー [ ➡ 90ページ]**
- ●ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

**つづき再生 [ ➡ 65ページ]**
- ●再生をストップした位置からつづけて再生を再開することができます。

**デジタルガンマ [ ➡ 90ページ]**
- ●暗くて見づらい部分を明るく見やすくすることができます。

**ビットレート表示 [ ➡ 89ページ]**

**DRC [ ➡ 100ページ]**

**黒レベル [ ➡ 90ページ]**
- ●暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

(＊1)PBC対応のビデオCD再生時は、PBC機能が優先され、本機側の設定(希望するところからの再生やリピート再生)は、機能しません。

# 各部のなまえ



**1**　**電源ボタン**
電源を入/切します。
・電源ランプ
本機の電源が入っているときに点灯します。

**2**　**巻戻しボタン（ビデオ）**［38ページ］
ビデオの巻戻しをします。

**3**　**早送りボタン（ビデオ）**［38ページ］
ビデオの早送りをします。

**4**　**停止/テープ取出しボタン（ビデオ）**［37ページ］
ビデオの再生/録画を止めます。テープが停止しているときはテープの取り出しをします。予約スタンバイ中はスタンバイを解除します。

**5**　**再生ボタン（ビデオ）**［37ページ］
ビデオの再生を開始します。

**6**　**録画ボタン（ビデオ）**［42ページ］
録画を開始します。

**7**　**予約ランプ（ビデオ）**［47ページ］
録画予約スタンバイ状態のときに点灯します。

**8**　**表示部**［18ページ］

**9**　**選局ボタン（ビデオ）**［38、41～43、59ページ］
ビデオランプ点灯時には、本機のチャンネルを変えます。再生中にマニュアルトラッキング調整するときにも使用します。

**10**　**ビデオランプ**［26ページ］
本機がビデオモードになっているときに点灯します。

**11**　**DVD/ビデオ出力切換ボタン**［26ページ］
本機をビデオモードまたはDVDモードに切り換えます。

**12**　**DVDランプ**［26ページ］
本機がDVDモードになっているときに点灯します。

**13**　**停止ボタン（DVD）**［63ページ］
ディスクの再生を止めます。

**14**　**再生ボタン（DVD）**［63ページ］
ディスクの再生を開始します。

**15**　**ディスクトレイ（DVD）**［62ページ］
ディスクをセットします。

**16**　**トレイ開/閉ボタン（DVD）**［62ページ］
ディスクトレイを開/閉します。

**17**　**カセットドア（ビデオ）**［37ページ］
ビデオテープをセットします。

**18**　**映像入力端子（ビデオ）**［58ページ］
他機器との接続に使用します。

**19**　**音声入力（左/右）端子（ビデオ）**［58ページ］
他機器との接続に使用します。

**20**　**D1/D2映像出力端子（DVD）**［22ページ］
市販のD端子ケーブルを接続します。

**21**　**VHF/UHFアンテナ入力端子（ビデオ）**［19、20ページ］
アンテナ線を接続してください。

**22**　**光デジタル音声出力端子（DVD）**［24、25ページ］
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを接続します。

**23**　**同軸デジタル音声出力端子（DVD）**［24、25ページ］
市販の同軸ケーブルを接続します。

**24**　**DVD専用出力（左/右）端子（DVD）**［22、23ページ］
市販の映像・音声コードを接続します。

**25**　**S映像出力端子（DVD）**［22ページ］
市販のS映像ケーブルを接続します。

**26**　**DVD/ビデオ共通出力端子**［21ページ］
付属の映像・音声コードを接続します。

**27**　**ビデオ専用入力端子**［53、58ページ］
他機器との接続に使用します。

**28**　**VHF/UHFアンテナ出力端子**［19、20ページ］
付属の同軸ケーブルを接続してください。

次ページへつづく

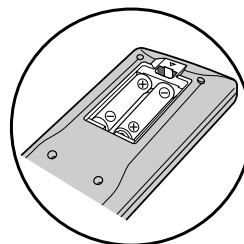
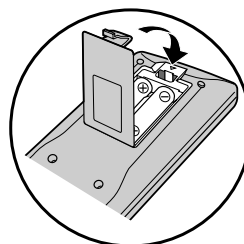
# 各部のなまえ

## リモコン

## リモコン乾電池の入れかた

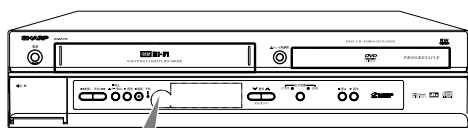
1

リモコン裏側のフタをはずす

2

乾電池を入れる
- ●(＋)(－)を確かめる
- ●(－)側を先に入れる

フタをつける

ちょっと一言！

- ■ アルカリ電池とマンガン電池を一緒に入れないでください。
- ■ 古い電池と新しい電池を一緒に入れないでください。
- ■ 付属の単3乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

## リモコンの操作方法

センサーにむけて
操作してください。

**操作可能範囲**
**距離**－本体正面より7m以内
**角度**－本体正面より左右30度以内、
上下15度以内

ちょっと一言！

- ■ リモコンは発光部を本体のリモコン受光部に向け、本体正面で約7m以内のところから操作してください。
- ■ リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

**1 電源ボタン**
電源の入/切に使用します。

**2 表示ボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[58ページ]**
・ビデオの状態/テープポジション/カウンター/時刻/チャンネル音声モードを表示します。
**（DVD）[89ページ]**
・ディスクの情報を画面に表示します。

**3 字幕ボタン（DVD）[80ページ]**
字幕（言語）を選択します。

**4 アングルボタン（DVD）[81ページ]**
アングルが記録されているDVDビデオの再生で、アングル（角度）を変更します。

**5 ズームボタン（DVD）[82ページ]**
DVD（VCD）再生画像の一部を拡大します。

**6 ビデオボタン [26ページ]**
リモコンでビデオ操作をするときに使用します。
映像/音声出力をビデオに切り換えます。

**7 トップメニューボタン（DVD）[74ページ]**
最上層のDVDディスクメニュー画面を表示します。

**8 カーソルボタン（4方向）**
画面での設定に使用します。

**9 リターンボタン（DVD）[73ページ]**
１つ前の設定画面に戻ります。PBC対応ビデオCD再生時、ディスクメニューを表示する時に使用します。またオーディオCD、MP３、JPEGでプログラムの内容を記憶した状態で停止するときに使用します。

**10 数字ボタン**
各設定、選択などに使用します。
・+10ボタン
２桁以上の数字を入力するときに使用します。

**11 早戻しボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[38ページ]**
・ビデオの巻戻しをします。
**（DVD）[64ページ]**
・お好みの位置まで戻します。また、逆スロー再生するときにも使用します。

**12 再生ボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[37ページ]**
・ビデオの再生を開始します。
**（DVD）[63ページ]**
・ディスクの再生を開始します。

**13 録画ボタン（ビデオ）[42ページ]**
録画を開始します。

**14 ダイレクトスキップ/CMスキップボタン（ビデオ/DVD）**
**CMスキップ（ビデオ）[57ページ]**
・再生中にCMスキップを行います。
**ダイレクトスキップ（DVD）[76～78ページ]**
・希望するタイトル、チャプター、タイムカウント、トラックからの再生をします。

**15 標準/3倍ボタン（ビデオ）[42ページ]**
テープの録画モードを変えます。

**16 ガンマ/黒レベルボタン（DVD）[90ページ]**
画面で暗いところを明るくします。

**17 クリアー/カウンターリセットボタン（ビデオ/DVD）**
**カウンターリセット（ビデオ）**
・テープのカウント表示をリセットします。
**クリアー（DVD）[70、71ページ]**
・各設定の取り消しに使用します。

**18 選局ボタン（ビデオ）[38、41～43、59ページ]**
テレビチャンネルを選択します。再生中にマニュアルトラッキングをするときにも使用します。

**19 予約入/切ボタン（ビデオ）[47ページ]**
録画予約の入/切に使用します。

**20 スローボタン（ビデオ）[38ページ]**
スロー再生時に使用します。

**21 停止ボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[37ページ]**
・ビデオの再生を止めます。
**（DVD）[63ページ]**
・ディスクの再生を止めます。

**22 一時停止/静止ボタン（ビデオ/DVD）**
**一時停止（ビデオ）[41、43ページ]**
・ビデオの再生/録画を一時止めます。
**静止（DVD）[66、67ページ]**
・ディスクの再生を一時止めます。また、コマ送りするときに使用します。

**23 早送りボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[38ページ]**
・ビデオの早送りをします。
**（DVD）[64ページ]**
・お好みの位置まで送ります。また、スロー再生するときにも使用します。

**24 スキップ/頭出しボタン（ビデオ/DVD）**
**頭出し（ビデオ）[56ページ]**
・録画テープの頭出しをします。
**スキップ（DVD）[66ページ]**
・チャプターやトラックをスキップします。

**25 A-Bリピートボタン（DVD）[70ページ]**
お好みの部分だけを繰り返し再生します。

**26 リピートボタン（DVD）[69ページ]**
再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生します。

**27 決定ボタン（DVD）[71ページ]**
設定を決定したりメニュー画面で項目を選択します。

**28 メニューボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[28ページ]**
・ビデオメニューを表示します。
**（DVD）[27ページ]**
・VCD以外のディスクのディスクメニュー画面を表示します。

**29 DVDボタン [26ページ]**
リモコンでDVD操作をするときに使用します。
映像/音声出力をDVDに切り換えます。

**30 モードボタン（DVD）**
**[71、72、87、88、90ページ]**
停止中に押すとプログラム再生画面とランダム再生画面を切りかえます。（CD、MP3、JPEG）再生中に押すと早見・早聞き／遅見・遅聞きモードになります。バーチャルサラウンドを設定するときに使用します。

**31 音声切換ボタン（ビデオ/DVD）**
**（ビデオ）[55ページ]**
・ステレオ/モノラル/左音声/右音声または、主音声/副音声の切り換えをします。
**（DVD）[79ページ]**
・希望する音声（言語）を選択します。

**32 マーカーボタン（DVD）[90ページ]**
頭出ししたい個所を指定します。

**33 初期設定ボタン（DVD）[28ページ]**
設定を変更するときに使用します。

**34 トレイ開/閉/テープ取出しボタン（ビデオ/DVD）**
**テープ取出し（ビデオ）**
・テープを取り出します。（ビデオ）
**トレイ開/閉（DVD）[62ページ]**
・トレイを開閉します。（DVD）

ちょっと一言！

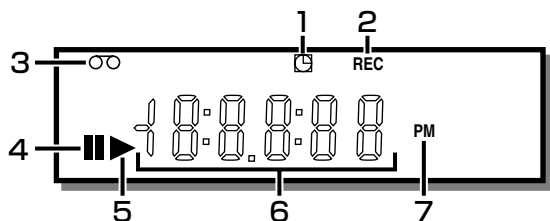
■ リモコンへの電池の入れ方、操作方法については、16ページをご覧ください。

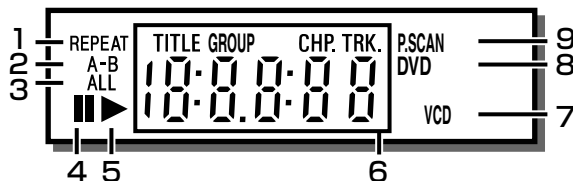
次ページへつづく

# 各部のなまえ

## 表示部について

ビデオモードのときはビデオの表示、DVDモードのときはDVDの表示をします。

### [ビデオ]

1. **タイマーセット表示**
   ビデオが予約スタンバイ中、または予約録画中に点灯します。
2. **録画表示**
   録画中に点灯します。また、録画中に一時停止すると点滅します。
3. **ビデオテープ表示**
   ビデオテープが本体に入っているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているビデオテープが一時停止状態になると点灯します。
5. **再生表示**
   入っているビデオテープが再生されているときに点灯します。
6. **再生時間表示**
   現在の時刻やビデオテープのカウンターを表示します（再生、録画時間の表示）。
7. **午後表示**
   午後になると表示します。（午前は表示されません）

### [DVD]

1. **リピート表示[69ページ]**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示[70ページ]**
   A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示[69ページ]**
   オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときと、スロー再生中に点灯します。
6. **タイトル/チャプター/トラック/再生時間表示**
   現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切りかえると、新しいタイトル、チャプターまたはトラックの番号が表示されます。
7. **VCD/CD表示**
   CD：CDがトレイに入っているときに点灯します。
   VCD：ビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示**
   DVDがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブスキャン表示**
   プログレッシブスキャンが“オン”のときに点灯します。

**表示管の表示例**

### 動作時のディスプレイ表示について

| | | | |
|---|---|---|---|
| トレイを開けたとき | OPEN | トレイを閉めたとき | CLOSE |
| ディスクが入っていないとき | ---- | ディスク読み込み中 | Load |
| PBC対応ソフトがトレイに入っていて、PBC機能がONのとき | Pbc | | |

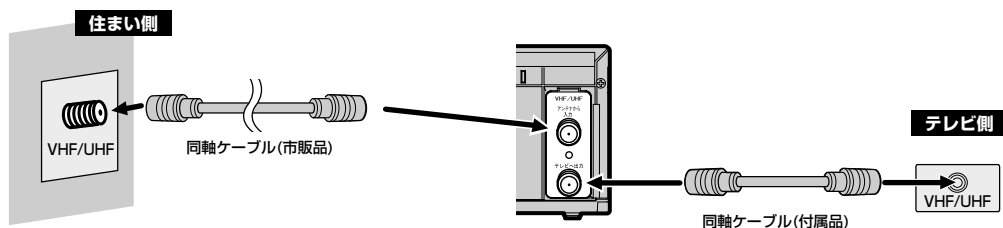
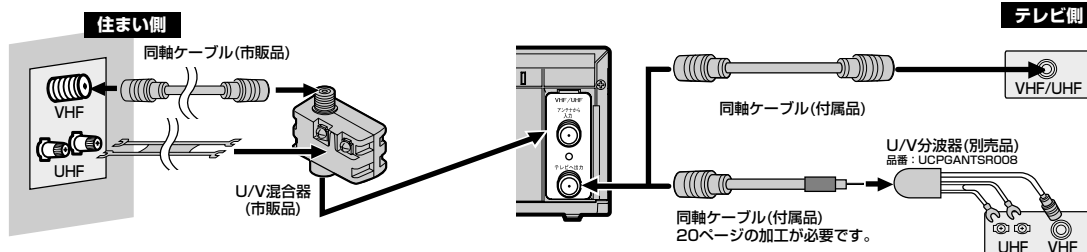
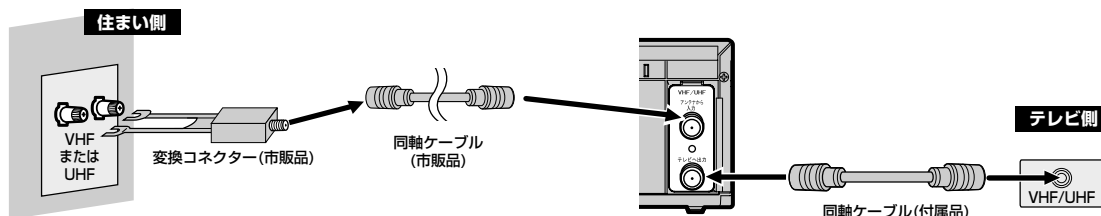
ちょっと一言！

■ スロー再生中は、再生表示と一時停止表示が同時に点灯します。

## アンテナ線のつなぎかた

アンテナ線の接続をしないと、テレビ放送の録画はできません。
同軸ケーブルをアンテナプラグまたは、U/V分波器(市販品)に取りつけるには加工が必要です。
詳しくは、20ページをご覧ください。
壁にアンテナ端子がある場合はアンテナ線を取りはずしアンテナ〜本機間に付属(または市販品）の同軸ケーブルを使用します。取りはずしたアンテナ線は本機〜テレビ間に接続してください。

| 接続に使う部品（必要に応じて市販品または付属品をお使いください） | | | |
|---|---|---|---|
|  同軸ケーブル（付属品） |  同軸ケーブル（市販品） |  アンテナプラグ（市販品） |  U/V混合器（市販品） |

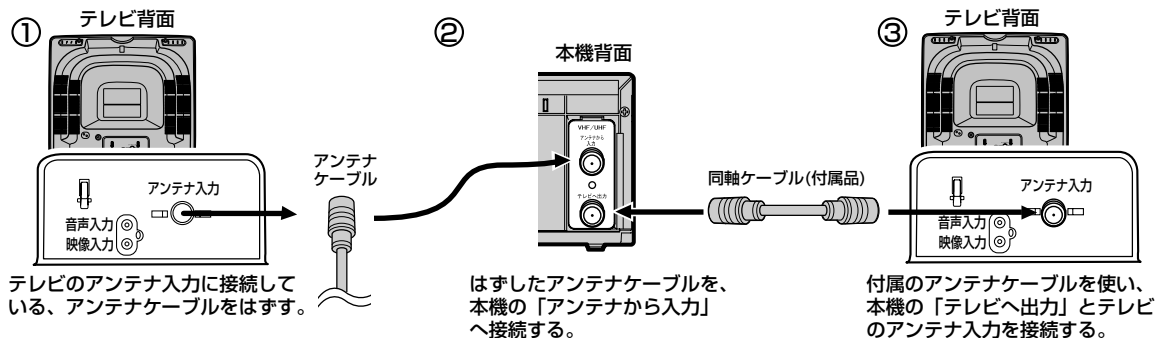
### 住まい側にVHF/UHF混合アンテナ線がついている場合

### 住まい側にVHFとUHFアンテナ線の両方がついている場合

### 住まい側にVHFまたはUHFアンテナ線がついている場合

ちょっと一言!

アンテナ接続について…
- ■ お手持ちのテレビやお住まいの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は違います。
- ■ アンテナ線の種類により、アンテナプラグ(市販品)やU/V混合器(市販品)が必要です。
- ■ 電波が弱い地域の場合、「アンテナブースター（市販品)」をご使用いただくことにより、電波の利得を全体に増幅させることはできますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。
  詳しくは販売店にご相談ください。

**現在お使いのテレビに本機を接続する場合**

テレビのアンテナ入力に接続している、アンテナケーブルをはずす。

はずしたアンテナケーブルを、本機の「アンテナから入力」へ接続する。

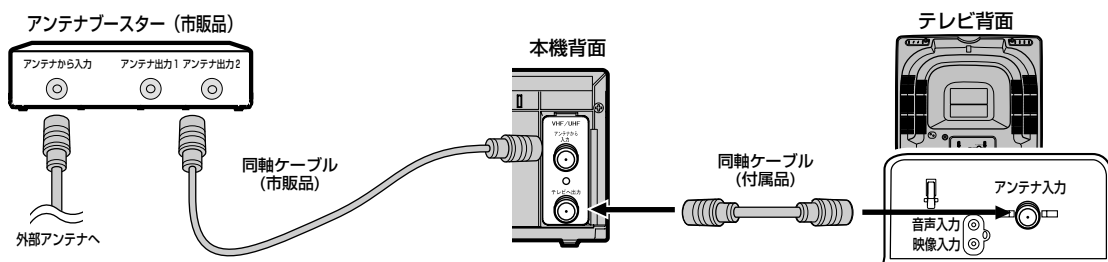
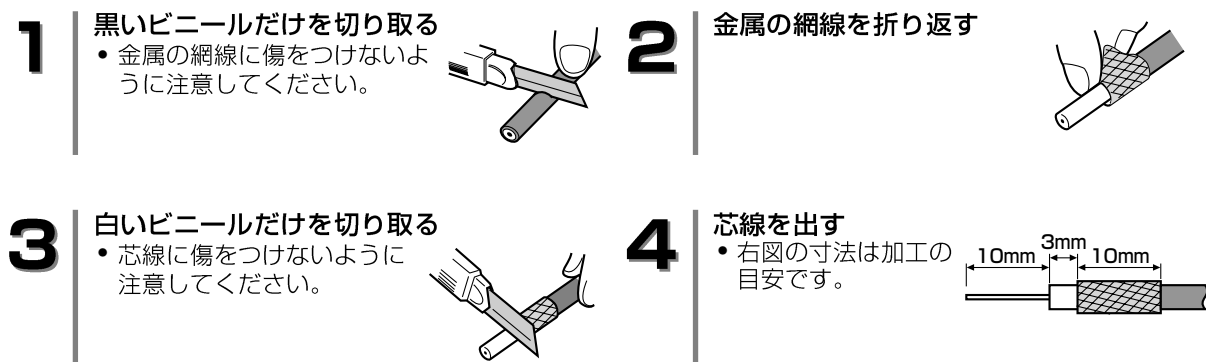
付属のアンテナケーブルを使い、本機の「テレビへ出力」とテレビのアンテナ入力を接続する。

**現在お使いのテレビに本機を接続する場合（電波が弱い場合の接続方法）**

## 同軸ケーブルの加工のしかた

**1** 黒いビニールだけを切り取る
- 金属の網線に傷をつけないように注意してください。

**2** 金属の網線を折り返す

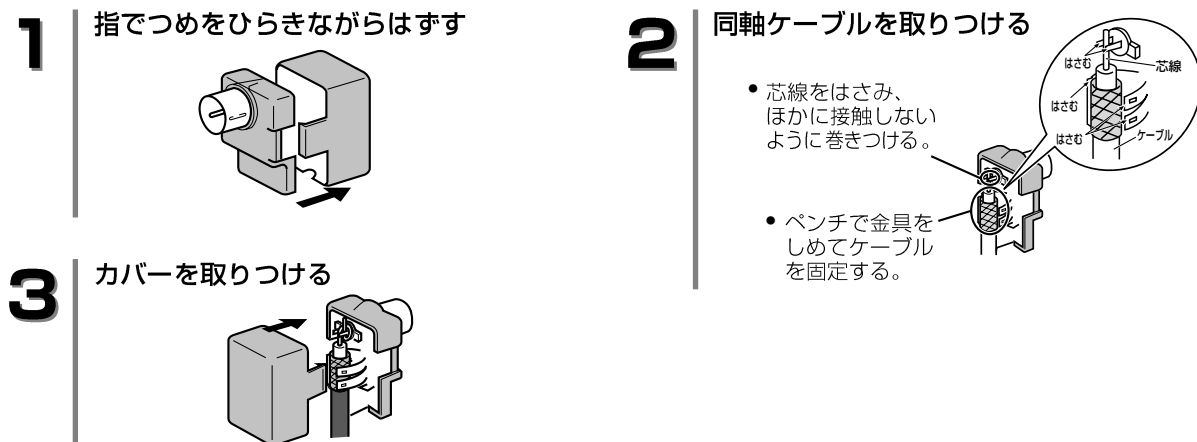
**3** 白いビニールだけを切り取る
- 芯線に傷をつけないように注意してください。

**4** 芯線を出す
- 右図の寸法は加工の目安です。

## 同軸ケーブルとアンテナプラグ（市販品）のつなぎかた

**1** 指でつめをひらきながらはずす

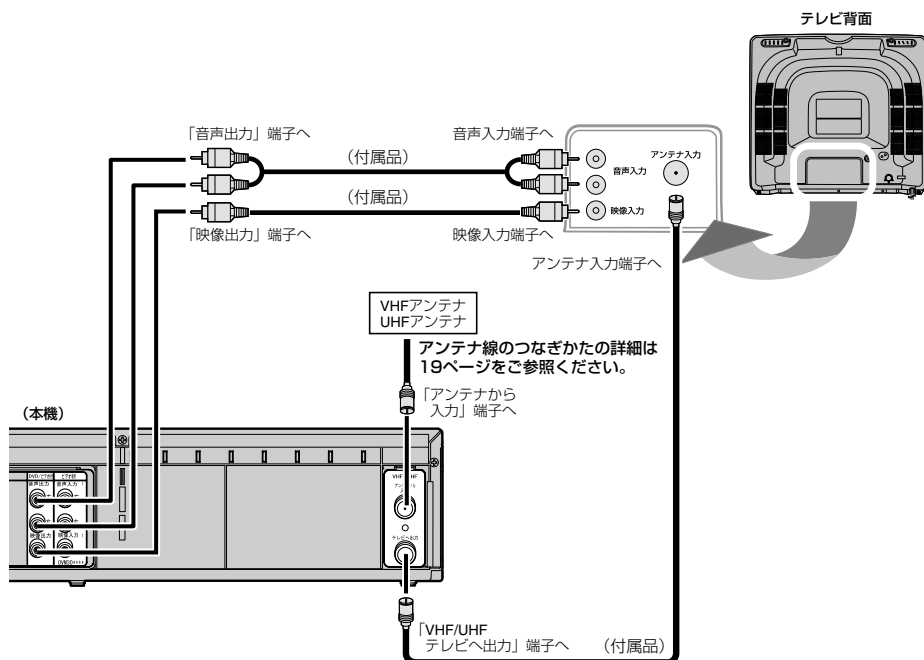
**2** 同軸ケーブルを取りつける
- 芯線をはさみ、ほかに接触しないように巻きつける。
- ペンチで金具をしめてケーブルを固定する。

はさむ
芯線
はさむ
はさむ
ケーブル

**3** カバーを取りつける

## 本機とテレビのつなぎかた

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

[基本接続]

この接続はビデオとDVDを切り換えてお楽しみいただくための基本的接続です。
DVDをより鮮明な画像でお楽しみいただくには、DVD専用端子への接続をおすすめします。
（接続端子に対応するテレビが必要です。）

- 本機でビデオやDVDをご覧になるときはテレビ側をビデオ(外部/AUXなど)にしてください。
- テレビ側にビデオ入力（映像／音声）端子がないときは本機と接続できません。

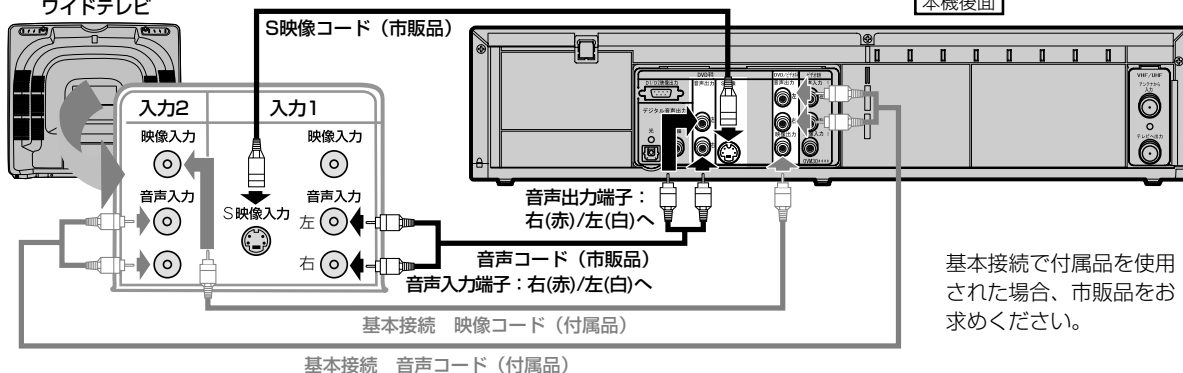


ちょっと一言！

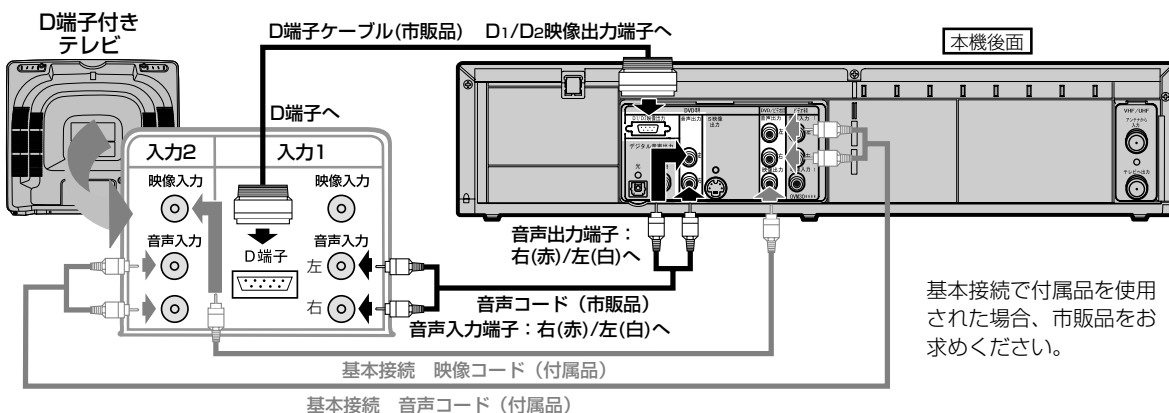
■ 電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなることがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

入力が2系統あるテレビをお持ちの場合、S映像接続またはD端子接続で、より鮮明な映像をお楽しみいただけます。

### S映像入力端子付テレビでDVDをお楽しみいただく場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお求めください。

### D端子付テレビをお使いの場合…

この接続はDVDをより鮮明な映像でお楽しみいただくためのものです。
黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。

基本接続で付属品を使用された場合、市販品をお求めください。

ちょっと一言！

■ テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,CB/PB,CR/PRのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

### コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

コンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

**プログレッシブスキャンの設定（工場出荷時は“オフ”）**

接続するテレビに合わせて設定してください。テレビがプログレッシブスキャン方式（525p/480p）に対応している場合、本機のD1/D2端子を使って接続し、映像設定でプログレッシブスキャンを“オン”にしてください。（98ページ参照）またテレビをプログレッシブモードに設定します。通常の（プログレッシブスキャン方式に対応していない）テレビをお使いの場合は、プログレッシブスキャンを“オフ”にしてください。

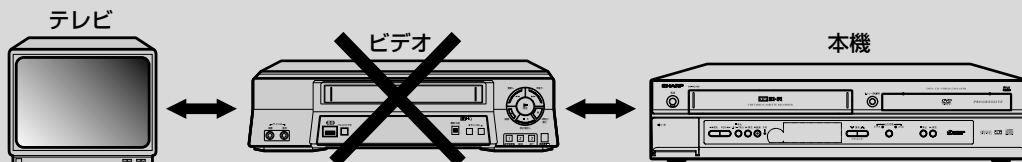
・テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

**プログレッシブスキャン方式とは？**

プログレッシブスキャン方式では従来方式のインタースレススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

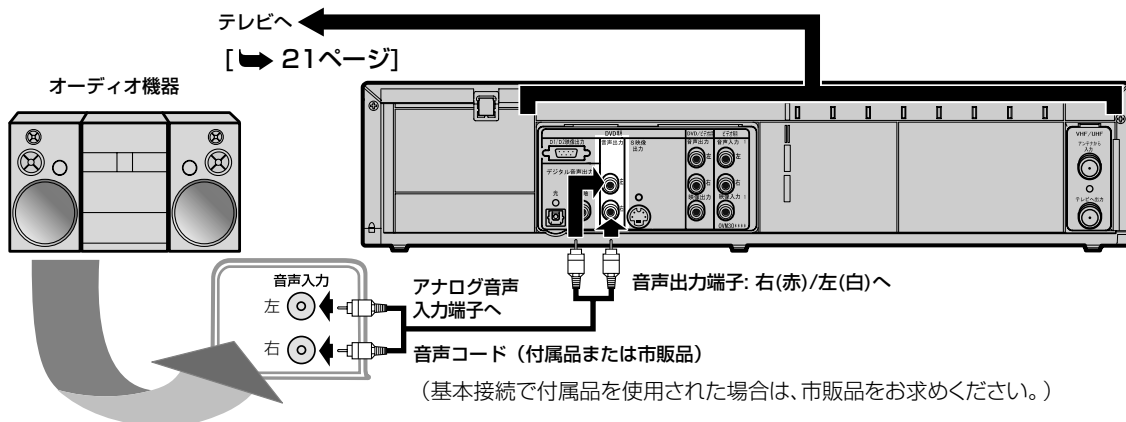
ちょっと一言!

■ ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[ ➡ 96 ～ 97ページ]

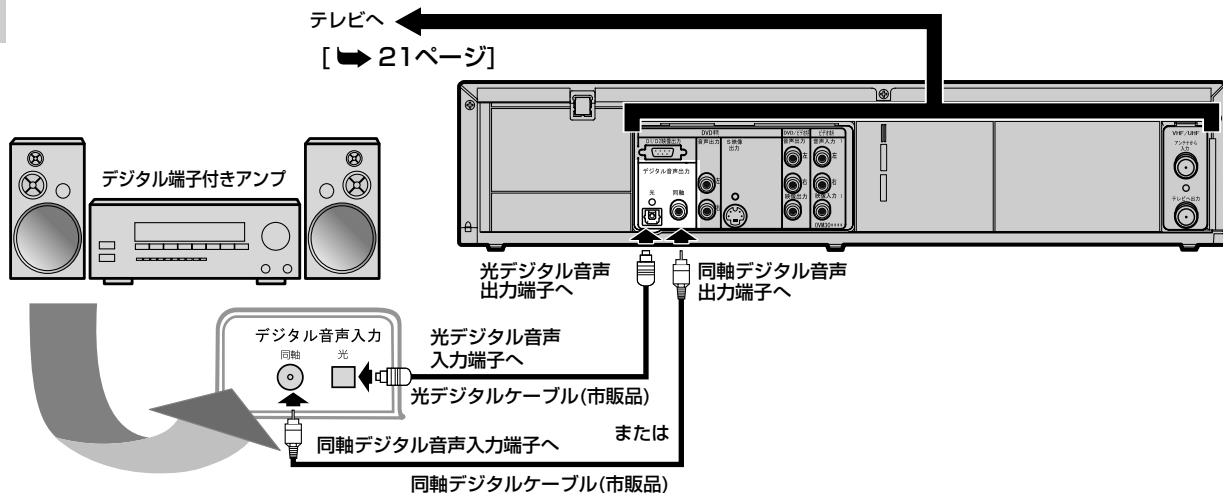
■ 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

■ 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。(映像は写りません。)

## アナログオーディオ機器との接続

● **接続を始める前に…**

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

## デジタル入力端子付きアンプとの接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル(市販品)または光デジタルケーブル(市販品)をご利用ください。

■ 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「設定をかえる」で、音声設定の[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にセットしてください。(工場出荷時は、ドルビーデジタルは[ビットストリーム]、DTSは[オフ])正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音がゆがみスピーカーが壊れることがあります。[ 99 ～ 100ページ]

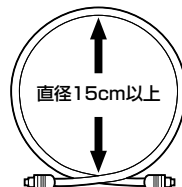
■ ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

### 光デジタル音声出力端子について

光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

### 光デジタルケーブルについて

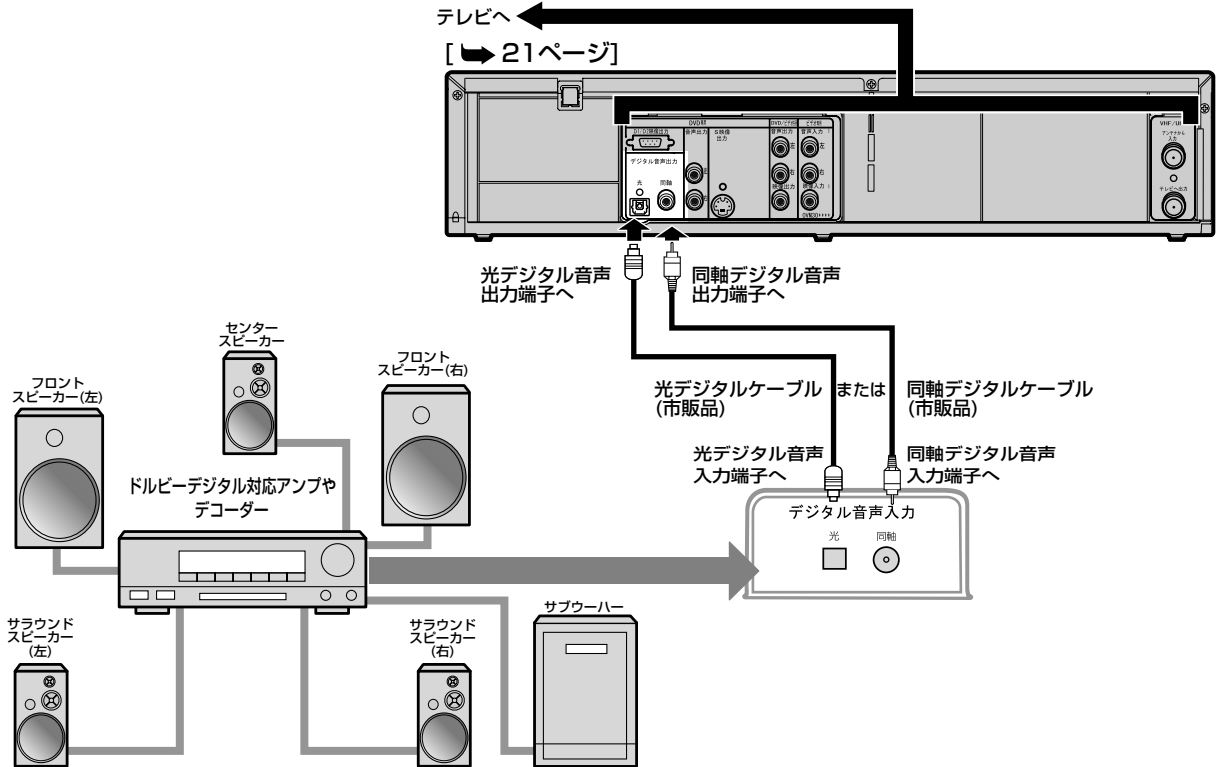
光デジタルケーブル(市販品)をお求めになるときは、あらかじめ接続されている機器の端子形状をご確認ください。光角形プラグと光ミニプラグがあります。

光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

## ドルビーデジタル、DTS対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

5.1チャンネルドルビーデジタルサラウンド、またはDTSサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーにこのプレーヤーを接続することで高品質のサラウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、(市販の)同軸デジタルケーブル、または(市販の)オーディオ用光デジタルケーブルをご利用ください。

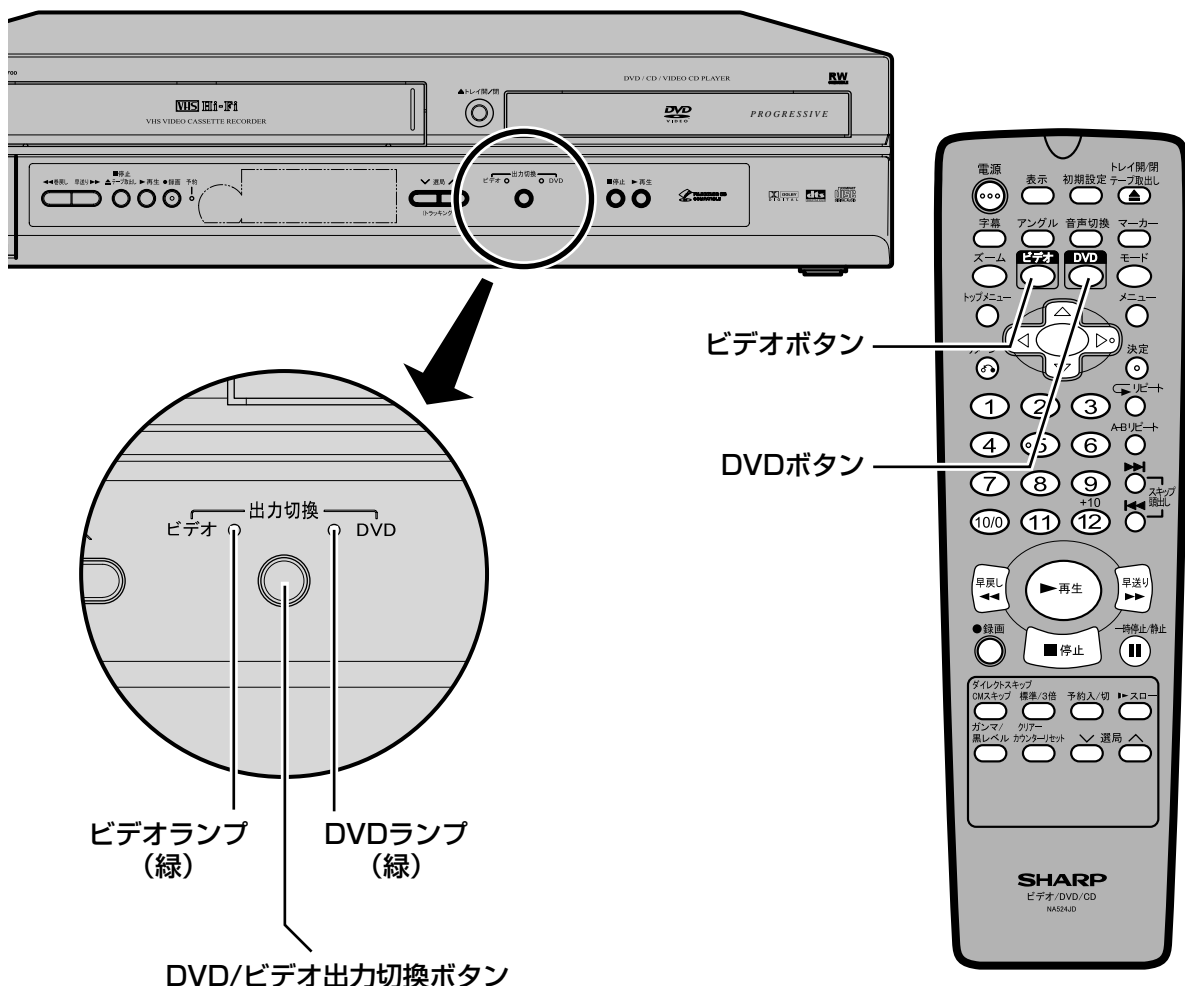
テレビへ
[ ➡ 21ページ]

光デジタル音声出力端子へ
同軸デジタル音声出力端子へ
光デジタルケーブル(市販品)　または　同軸デジタルケーブル(市販品)
光デジタル音声入力端子へ
同軸デジタル音声入力端子へ
デジタル音声入力
光　同軸
センタースピーカー
フロントスピーカー(左)
フロントスピーカー(右)
ドルビーデジタル対応アンプやデコーダー
サラウンドスピーカー(左)
サラウンドスピーカー(右)
サブウーハー

■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「設定をかえる」で音声設定の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[ ➡ 99 ～ 100ページ]
■ DTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「設定をかえる」で音声設定の[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[ ➡ 99 ～ 100ページ]
■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「設定をかえる」で音声設定の[ドルビーデジタル]を[DPCM]、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時は、ドルビーデジタルは[ビットストリーム]、DTSは[オフ]) 正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がゆがみスピーカーが壊れることがあります。[ ➡ 99 ～ 100ページ]

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」「Dolby」およびダブルD(DD)記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSとDTS Digital Outは米国Digital Theater Systems. Inc.の登録商標です。

## ビデオ/DVDの切り換え操作について

**本製品はビデオデッキとDVDプレーヤーが一体型になっており、操作時はビデオとDVDを切り換える必要があります。**
**電源を入れ、以下の操作を行ってから、各操作を行ってください。**
**※ 以下(29ページ以降)の説明においては、リモコンを主体とした説明になりますが、ご了承ください。**

### ビデオ操作時

■リモコンのビデオボタンを押します。
（本体のビデオランプが点灯します。）

＊本体のDVD/ビデオ出力切換ボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでビデオ操作を行うときは、リモコンのビデオボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

### DVD操作時

■リモコンのDVDボタンを押します。
（本体のDVDランプが点灯します。）

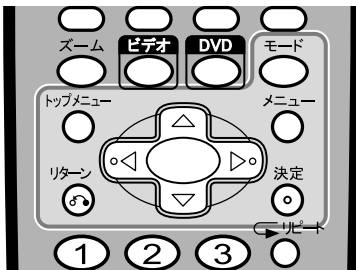
＊本体のDVD/ビデオ出力切換ボタンは映像、音声切り換えのみを行います。続いてリモコンでDVD操作を行うときは、リモコンのDVDボタンを押してから各操作ボタンを押してください。

## 本製品の機能操作について

本機は初期設定画面(下図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※62ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

図1 初期設定画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

| 使用用途 | ボタン名称 | リモコン |
|---|---|---|
| ・メニュー画面を呼び出す | メニュー | メニュー |
| ・タイトルメニューを呼び出す | トップメニュー | トップメニュー |
| ・初期設定(セットアップ)画面を呼び出す | 初期設定 | 初期設定 |
| ・選択項目の移動 | カーソル | |
| ・選択項目の確定 | 決定 | 決定 |
| ・項目の戻り | リターン | リターン |
| ・プログラム画面切り換え | モード | モード |

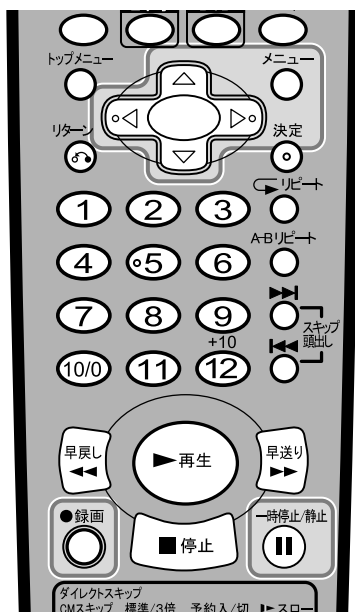
# ビデオ

本機はメニュー画面(下図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※29ページ以降の説明においては、リモコン主体とした説明となります。



図1 メニュー画面（テレビ画面）

図2 リモコン 操作ボタン

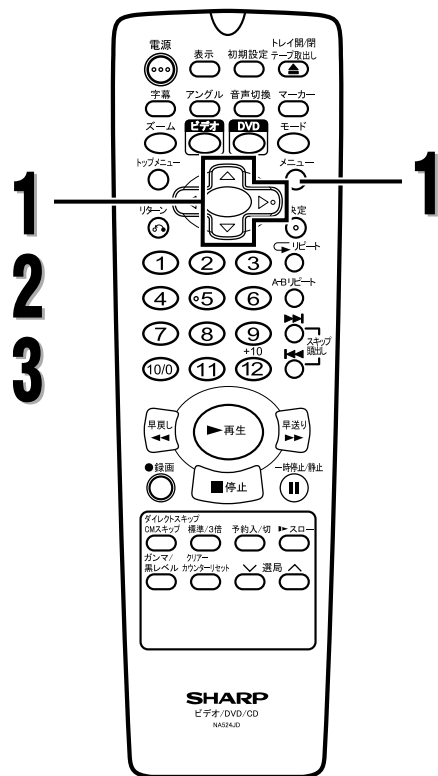
各ボタンの名称と使用用途

| 使用用途 | ボタン名称 | リモコン |
|---|---|---|
| ・メニュー画面を呼び出す | メニュー | メニュー ○ |
| ・メニュー項目の選択<br>・録画予約時の数値選択 | カーソル | △ ▽ |
| ・選択項目の確定/移動 | カーソル | ▷ |
| ・項目の戻り<br>・予約の取り消し | カーソル | ◁ |
| ・録画予約の延長 | 録画 | ●録画 |
| ・録画予約の延長取り消し | 一時停止/静止 | 一時停止/静止 |

△ボタンを押すと、上へ移動または大きい数字になり、
▽ボタンを押すと、下へ移動または小さい数字になります。

## 日付と時刻の合わせかた

表示管の時刻表示が「－－：－－」になっているときは、時刻を合わせてください。
（時刻設定をしないと、録画予約はできません。）
電源が「入」になっていることを確認してください。操作は、テレビにメニュー画面を表示して行います。

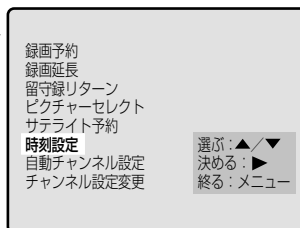
**準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。**
**リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

SHARP
ビデオ/DVD/CD
NA524JD

### 1

メニュー を押してメニュー画面を表示させます。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

△ または ▽ を押して**時刻設定**を選びます。

▷ を押して次の画面へ移ります。

### 2

△ または ▽ を押して**年**を合わせます。

▷ を押して次の項目へ移ります。

• **月**／**日**についても同様の操作で合わせます。

時刻設定
２００４年
７月　１日　木曜日
午前　０時　００分
自動時刻修正　：　１
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

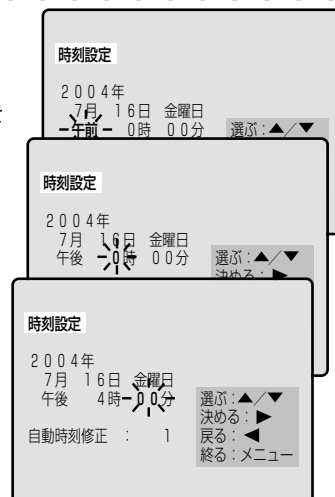
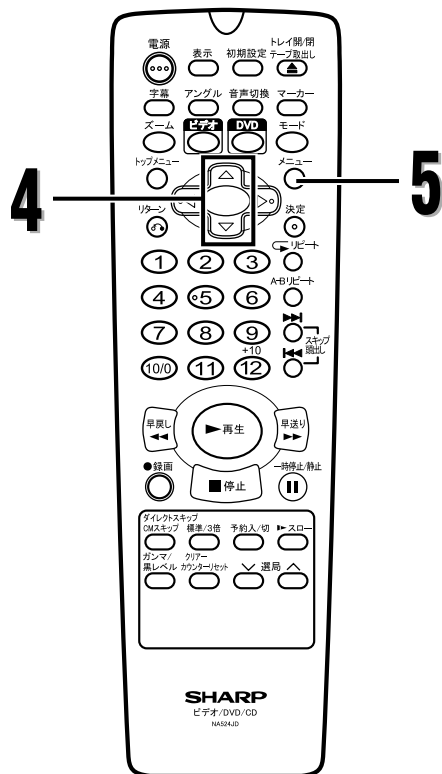
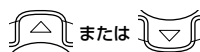
### 3

△ または ▽ を押して**午前**または**午後**を選びます。

▷ を押して次の項目へ移ります。

• **時**／**分**についても同様の操作で合わせます。



次ページへつづく

## 4

で**自動時刻修正チャンネル**を合わせます。

- **自動時刻修正チャンネル**は各地域のNHK教育テレビのチャンネルに合わせてください。

＊ ◀ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

## 5

メニュー で終了します。

午後　４時３０分

- 設定した時刻が右上に表示され、しばらくすると自動的に消えます。
- 電話117番などの時報と同時に**メニューボタン**を押すと、同時に**時計カウント**がスタートし、正確に時刻を合わせることができます。

ちょっと一言！

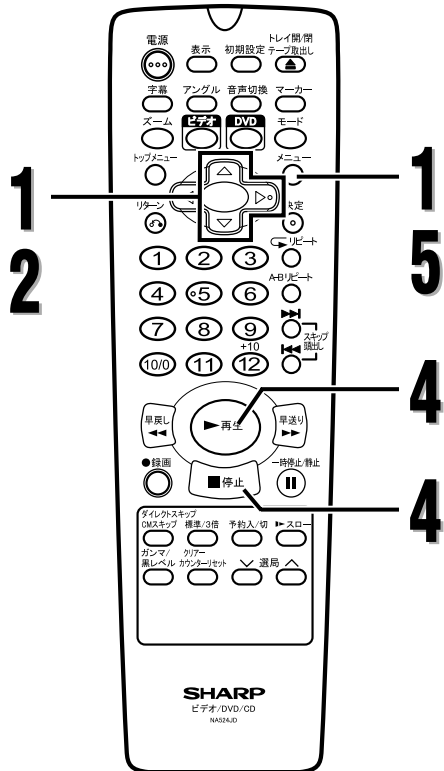
■ 時刻設定が行われていない場合、録画予約を選ぶと時刻設定の画面になります。
■ 年→月→日→午前/午後→時→分→自動時刻修正の設定は、入力後8秒経過すると自動的に次の項目へ移動します。設定が合っている場合、▶ボタンを押すことで、設定したい項目に進むことができます。
■ 電源プラグを抜いても約1時間は現在時刻を記憶しています。ほかの設定は消えてしまうので再度設定を行ってください。
■ 1時間以上の停電があった場合や、または1時間以上電源プラグをコンセントから抜いていた場合は、本機のバックアップ機能が働きませんので時刻設定を再度行ってください。（そのときの表示は－－：－－）
■ ▲/▼ボタンを押し続けると、表示される数字が早く変わります。
■ 本機には2004年～2053年まで設定可能な50年カレンダーが内蔵されています。
（カレンダーは2004年1月1日から表示されます。）

自動時刻修正について…
■ 自動時刻修正スタンバイ時（午後0時、7時）の前後5分間は、電源ランプが点灯します。
■ 時刻のずれが5分以内の場合は自動的に現在時刻に修正されます。時刻のずれが5分以上の場合は、再度時刻を合わせてください。
■ 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
■ 自動時刻修正は、NHKの時報に合わせて毎日(午後0時、7時)自動的に時刻を修正します。ただし本機を使用中（電源が入っているとき）は、動作しません。
■ 午後0時と7時に録画予約、サテライト予約が設定されている場合は自動時刻修正されません。
■ 時報が放送される時刻に、時報のバックに音楽が流れているとき、「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき、時報以外が放送される（特別番組など）ときは、自動時刻修正されません。

## 自動チャンネルの設定

お買い上げ時や、お引っ越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、自動チャンネル設定を行ってください。
お住まいの地域で受信可能なチャンネルを本機が設定します。

**準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。**
**リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

### 1

メニュー でメニュー画面を表示させます。

△ または ▽ で

**自動チャンネル設定**を選びます。

▷ で「自動チャンネル設定」画面に移ります。

### 2

▷ でサーチを開始します。

- **1チャンネルから順次、受信可能なチャンネルを探していきます。**

### 3

- チャンネルサーチ中
- **最終チャンネルのC63CHが表示されるまで、しばらくお待ちください。**
  **チャンネルサーチ中にほかの操作をすると、正常なチャンネルが設定されませんのでご注意ください。**

### 4

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

設定　自動チャンネルの設定

自動チャンネル設定(受信ステップ)について

(1)【VHF】 1ch～12ch
↓
(2)【UHF】 13ch～62ch
↓
(3)【CATV】 C13ch～C63ch

- 上記の順に自動チャンネル受信設定をしていきます。
- 設定には多少時間がかかります。

※CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。CATVの受信は、サービスの行われている地域のみです。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

ちょっと一言!

■ チャンネル設定は一度行えば本体に記憶されるため、停電などの場合でも設定をやり直す必要はありません。
■ 引っ越しなどでお住まいの地域が変更になった場合は、再度自動チャンネルの設定を行ってください。
■ 自動チャンネル設定およびチャンネル設定変更でチャンネルを設定し直した場合は、自動時刻修正チャンネルを再度設定してください。
■ 本機は、36チャンネル分を記憶することができます。
チャンネルサーチ動作途中で、36チャンネル分がすべて記憶された場合、その時点でチャンネルサーチは終了します。
自動チャンネル設定された以外のチャンネルを記憶させるには、不要なチャンネルを削除し、新たに記憶させたいチャンネルを手動で設定する必要があります。この操作をするには、33ページの「不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰」をご覧ください。

## 不要なチャンネルの削除(スキップ)とチャンネル復帰

自動チャンネル設定が終わったあと、受信チャンネルの確認を行ってください。空チャンネルや電波が弱くてはっきりと映らないチャンネルなどを飛び越すように設定できます。

● CH番号「3」に19チャンネルが記憶されている場合、19チャンネルを削除(スキップ)するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

### 1

または で

**チャンネル設定変更**を選びます。

で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

### 2

または で

削除(スキップ)したい**CH番号**を選びます。

- CH番号は1～36までであります。
  例：CH番号12で を押すと、次の画面に切り替わります。

チャンネル設定変更

| CH番号― | 受信― | 表示 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1― | ― | | 7― | ― | |
| 2― | 2 | 2 | 8― | 8― | 8 |
| 3― | 19― | 19 | 9― | ― | |
| 4― | 4― | 4 | 10― | 10― | 10 |
| 5― | ― | | 11― | ― | |
| 6― | 6― | 6 | 12― | 12― | 12 |

選ぶ：▲/▼　決める：▶　終る：メニュー

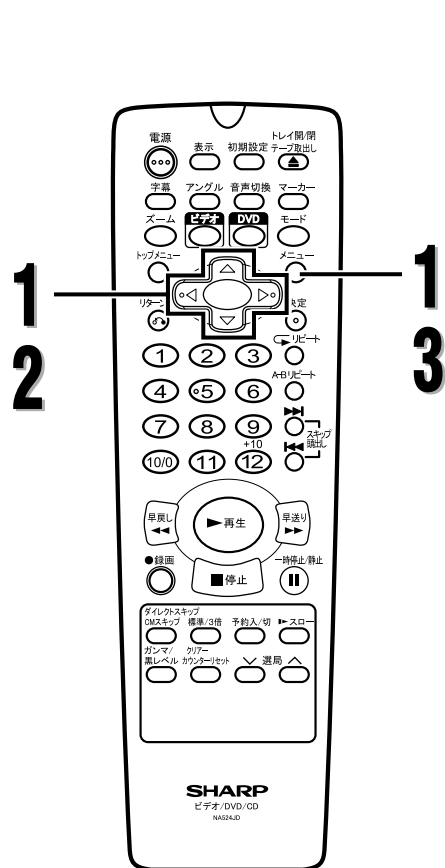
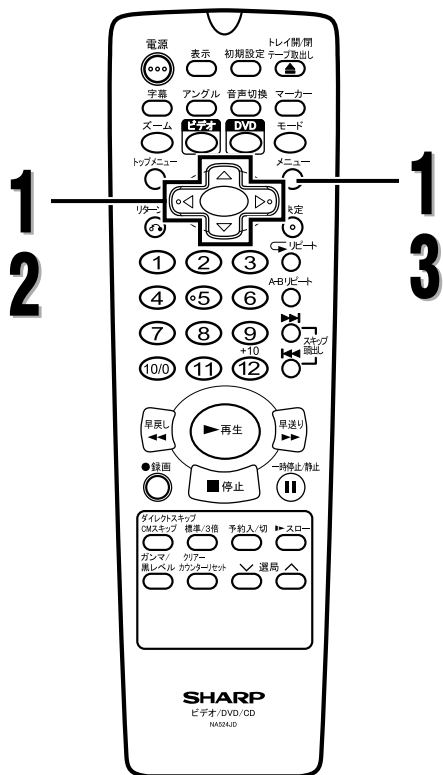
を押します。

- 自動チャンネル設定をしていない場合、**「受信ー表示」**欄のチャンネルは表示されません。
- ほかの不要なチャンネルを削除(スキップ)したい場合は、 でカーソルを**CH番号**に戻し、上記の操作を繰り返してください。

### 3

● 一度削除(スキップ)したチャンネルを復帰するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。

## 1

メニュー ◯ でメニュー画面を表示させます。

△ または ▽ で

**チャンネル設定変更**を選びます。

▷ で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

## 2

△ または ▽ で

復帰したい**CH番号**を選びます。

削除(スキップ)したい**CH番号**を選びます。

- CH番号は1～36まであります。
 例：CH番号12で ▽ を押すと、次の画面に切り替わります。

▷ を押します。

◁ で復帰します。

- ほかのチャンネルを復帰したい場合は、▷ でカーソルを**CH番号**に戻し、上記の操作を繰り返してください。

## 3

メニュー ◯ で終了し、通常画面に戻ります。

## チャンネル設定変更

受信チャンネル及び画面に表示されるチャンネル番号を設定・変更することができます。

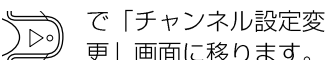
● CH番号「3」に19チャンネルを受信させ、画面表示チャンネルを「3」にするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。



### 1

メニュー でメニュー画面を表示させます。

**チャンネル設定変更**を選びます。

で「チャンネル設定変更」画面に移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

### 2

変更したい**CH番号**を選びます。

を押します。

チャンネル設定変更

| CH番号 | 受信 | 表示 | CH番号 | 受信 | 表示 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1− | − | | 7− | − | |
| 2− | 2 | 2 | 8− | 8− | 8 |
| 3− | 3− | 3 | 9− | − | |
| 4− | 4− | 4 | 10− | 10− | 10 |
| 5− | − | | 11− | − | |
| 6− | 6− | 6 | 12− | 12− | 12 |

選ぶ：▲／▼　決める：▶　終る：メニュー

### 3

受信チャンネルを変更します。

で次の画面へ移ります。

チャンネル設定変更

| CH番号 | 受信 | 表示 | CH番号 | 受信 | 表示 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1− | − | | 7− | − | |
| 2− | 2 | 2 | 8− | 8− | 8 |
| 3− | 19 | 19 | 9− | − | |
| 4− | 4− | 4 | 10− | 10− | 10 |
| 5− | − | | 11− | − | |
| 6− | 6− | 6 | 12− | 12− | 12 |

受信変更：▲／▼　決める：▶
スキップ：◀　終る：メニュー

- 自動チャンネル設定で何も設定されていない「CH番号」を選んだときは ◁ を一度押してから △ または ▽ で受信チャンネルを設定します。
- 設定した受信チャンネルで放送が映るか確認したいときは 表示 を押します。放送が正しく受信できているときはテレビ画面が確認できます。

### 4

画面表示チャンネルを変更します。

チャンネル設定変更

| CH番号 | 受信 | 表示 | CH番号 | 受信 | 表示 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1− | − | | 7− | − | |
| 2− | 2 | 2 | 8− | 8− | 8 |
| 3− | 19− | 3 | 9− | − | |
| 4− | 4− | 4 | 10− | 10− | 10 |
| 5− | − | | 11− | − | |
| 6− | 6− | 6 | 12− | 12− | 12 |

表示変更：▲／▼　決める：▶
スキップ：◀　終る：メニュー

**※CH番号か受信チャンネルの表示になります。**

- ほかのチャンネル表示も変更したい場合は、▷ でカーソルを**CH番号**に戻し、**2**〜**4**の操作を繰り返してください。

### 5

メニュー

で終了し、通常画面に戻ります。

## チャンネル設定変更画面について

### CH番号(チャンネル番号)

• CH番号とは、放送局を設定する箱のようなものです。本機はCH番号1～36まであり、放送局を最大36局まで記憶することができます。
（1～12はリモコンの数字ボタンで選択可能です。）

### 画面表示チャンネル

• 画面に表示されるチャンネル番号です。

### 受信チャンネル

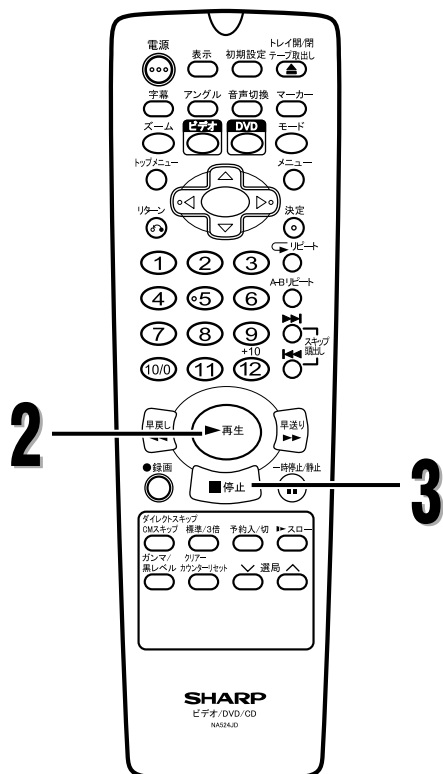
• 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
（VHFの1～12チャンネル、UHFの13～62チャンネル、CATVのC13～C63チャンネルが受信できます。）

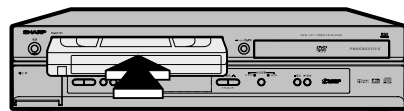
■ 画面表示チャンネルはCH番号（チャンネル番号）か、受信チャンネル番号のどちらかのみになります。任意に数字を設定することはできません。
■ CH番号（チャンネル番号）と受信チャンネル番号が同じときは、画面表示チャンネルの変更はできません。すべて同じチャンネルとなります。
■ チャンネル設定の変更中に表示ボタンを押すと、テレビをご覧になれます。

# ビデオを再生する

## 再生のしかた

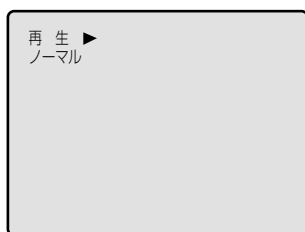
● ビデオカセットテープの再生をするには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

### 1

ビデオカセットテープを挿入すると、自動的に電源が入ります。
（ツメが折れているテープの場合は、自動的に再生が始まります。）

### 2

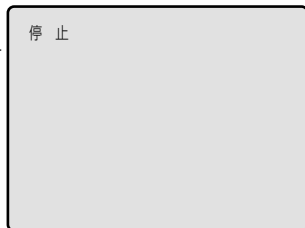
►再生 を押すと再生が始まります。

• 画面上の「ノーマル」表示は、ピクチャーセレクトの設定項目を表しています。

再 生 ►
ノーマル

### 3

■停止 を押すと再生は止まります。

• ビデオカセットテープを取り出すときは、ビデオ停止中に本体の ■停止/⏏テープ取出し を押します。

停 止

ちょっと一言!

ビデオの再生について

■ ビデオカセットテープ挿入直後や、再生停止のあと再び再生ボタンを押すと約1.5秒で画面に映像がでます。（クイックプレイ機能）ただし停止後5分以上放置すると、テープ保護のためクイックプレイ機能は働きません。
■ デジタルトラッキング調整中は、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。
■ ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを再生／静止画にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。
■ テープの録画状態により、デジタルトラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、マニュアルトラッキング調整をしてください。
■ トラッキング調整の詳しいことは、9ページをご覧ください。

画面表示について

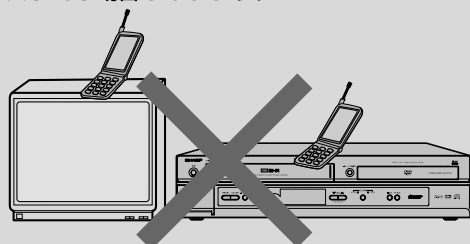
■ テープカウンターや時刻、チャンネルを画面上に表示させるときは表示ボタンを押してください。(58ページ)

S-VHS簡易再生機能(SQPB)について

S-VHS方式で録画されたビデオカセットテープを簡易的に見ることができます。再生のしかたはノーマルVHSテープと同じです。

■ S-VHSかノーマルVHSかを自動的に判別し再生します。
■ S-VHS本来の高解像度は得られません。また画面にノイズがでる場合があります。
■ 本機ではS-VHS録画はできません。
■ SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
■ ビデオサーチ／静止のときは、映像が乱れたり色が抜けたりしますが、故障ではありません。

携帯電話をご使用になるときはテレビやビデオに近づけないでください。

■ 音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

# ビデオを再生する

## 早送り／巻戻しのしかた

● 早送り・巻戻しをするには…

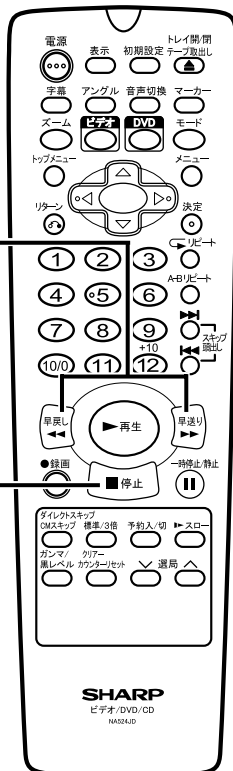
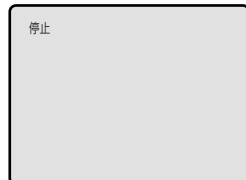
準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

**1**

再生中の場合は、

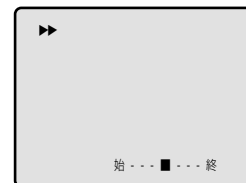
■停止 を押して再生を止めます。

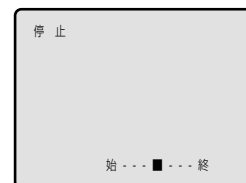
停止

**2**

早戻し◄◄ または 早送り►► を押します。

- テープの最後まで早送りしたときは、自動的に巻戻しされます。
- テープ先頭まで巻戻ししたときは自動的にテープが排出されます。

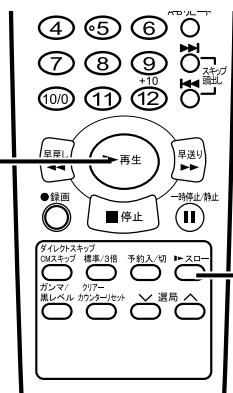
►►
始 - - - ■ - - - 終

**3**

■停止 を押すと

**早送り・巻戻し**は止まります。

## スロー再生（音声はでません。）

1/5～1/30倍速にスピードを変えて、スロー再生ができます（初期値は1/12倍速)。

準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

**1**

►スロー を**再生中**に押します。

- スロースピードを変えるときは…
  **早送りボタンを押す…速くなります。**
  **早戻しボタンを押す…遅くなります。**
- スロー再生が**5分以上**続くと、テープ保護のため自動的に**停止**します。

**2**

►再生 を押すと**通常の再生**に戻ります。

ちょっと一言！

■ スロー再生は再生時以外は操作できません。
■ スロー再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。（テレビによっては調整できないものもあります。）
■ 逆スロー再生はできません。
スロー画面でノイズがでるときは…
■ 選局ボタンでノイズがでないように調整してください。

## ビデオサーチ

画面を見ながら、早送り再生／巻戻し再生ができます。（音声はでません。）

**準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

### ● ビデオサーチ

**1**

再生中に

早戻し ◀◀ または 早送り ▶▶ を押すと**5倍速**で**再生**します。

を押すと**通常の再生**に戻ります。

- テープの先頭まで早送りサーチしたときは、自動的に再生されます。
- テープの最後まで早送りサーチしたときは、自動的に巻戻しされてテープが排出されます。

### ● 2段階ビデオサーチ

**2**

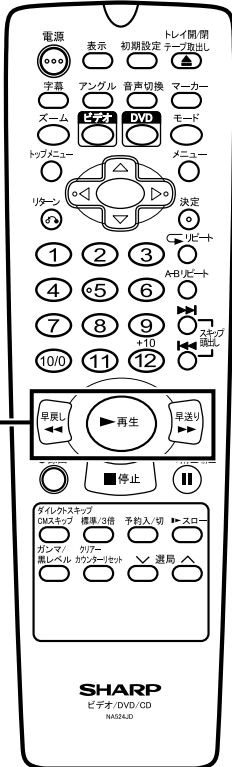
**［録画モード3倍で録画したテープの場合のみ］**

再生中に

を押すと**5倍速**と**15倍速**の**2段階**でビデオサーチできます。

- **1度押す**…**5倍速**で再生します。
- **2度押す**…**15倍速**で再生します。

を押すと**通常の再生**に戻ります。

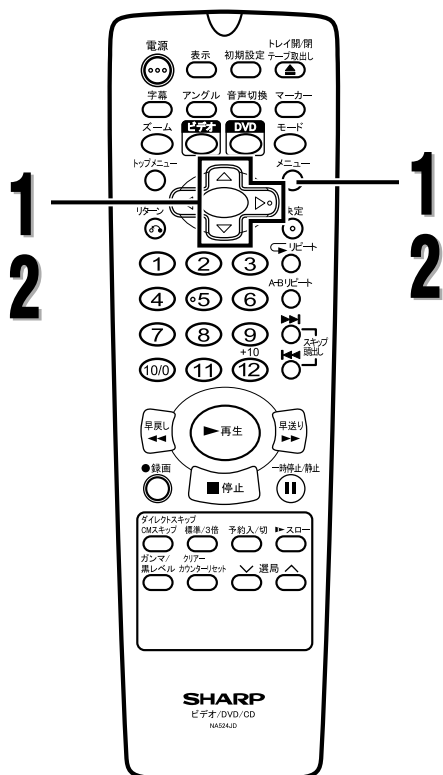
| 録画モード ＼ 操作方法 | 「標準」 | 「3倍」 |
|---|---|---|
| 再生中に1度押す | 5倍速で再生 | 5倍速で再生 |
| 再生中に2度押す | | 15倍速で再生 |

**ちょっと一言！**

■ ビデオサーチは再生時以外は操作できません。
■ ビデオサーチ中は画面にノイズがでますが故障ではありません。
■ ビデオサーチを始めるときや、通常の再生に戻すとき、一瞬画面が乱れることがありますが故障ではありません。
■ 画像がゆがむ、上下方向に流れるときはテレビ側で調整してください。（テレビによっては調整できないものもあります。）

## ピクチャーセレクト

ビデオを再生する際に映像を選択(ノーマル・ソフト・クッキリ)できます。

**準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。**
**リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。**

### 1

メニュー でメニュー画面を表示させせます。

または でピクチャーセレクトを選びます。

で「ピクチャーセレクト」画面に移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更

選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

### 2

で**ノーマル／ソフト／クッキリ**を選びます。

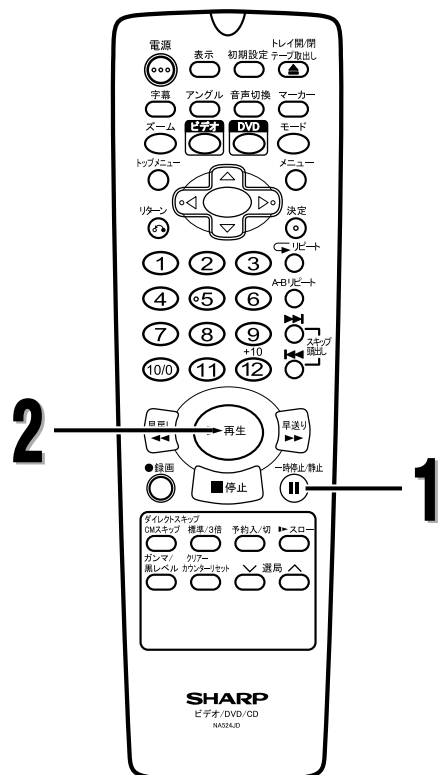
※この画面の状態のまま**5秒経過**すると設定モードが自動的に終了します。

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

この設定はテープを取り出しても変わりません。

## 静止画再生（音声はでません。）

一瞬の場面などを、止めて見ることができます。

準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

### 1

一時停止/静止 を**再生中**に押します。

• 静止画再生が**5分以上**続くと、テープ保護のため自動的に**停止**します。

### 2

►再生 を押すと**通常の再生**に戻ります。



ちょっと一言！

■ 静止画再生中に一時停止／静止ボタンを押すと、1コマ送ることができます。
■ 静止画再生は再生時以外は操作できません。
■ 静止画再生中に画像がゆがむ、上下方向に流れるなどのときはテレビ側で調整してください。
（テレビによっては調整できないものもあります。）

静止画面でノイズが出るときは…
■ 一旦、スロー再生にして選局ボタンでノイズをなくした後もう一度、静止画面に戻してください。
■ 画像がブレる場合は、選局ボタンで画像のブレがなくなるように調整してください。
（場合によっては調整で改善できないことがあります。）
■ ほかのビデオカセットテープレコーダーで録画したテープを静止画再生にしたとき、トラッキング調整してもノイズが消えないことがあります。

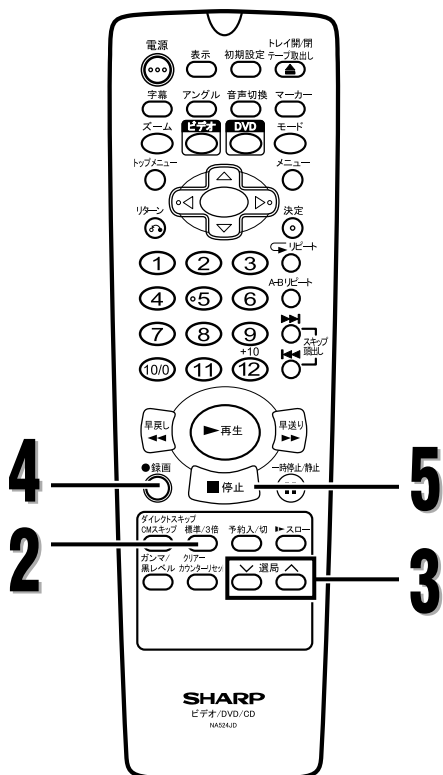
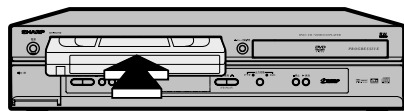
# ビデオに録画する



## テレビ番組の録画

● 番組を見ながら録画するには…

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
　　　リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

**1**

• ツメの折れていないテープを入れます。

**2**

標準/3倍 を押して**録画モード**を選びます。

• **標準(SP)モード**
画質を優先したいとき
• **3倍(EP)モード**
録画時間を長くしたいとき

標　準

**3**

選局 を押して
お好みのチャンネルを選びます。

4

**4**

●録画 を押すと**録画**が始まります。

録　画

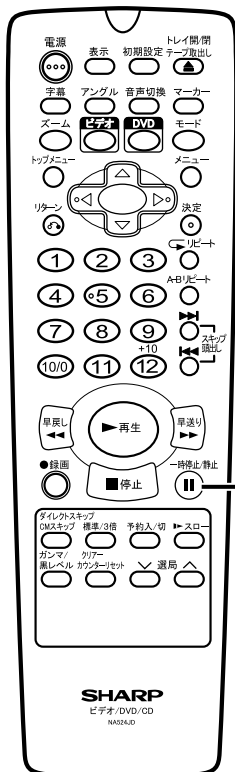
標　準

**5**

■停止 を押すと録画を**停止**します。

停　止

● 録画中にコマーシャルなどをカットするには…

準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

## 1

一時停止/静止 を押すとテープの走行は**一時停止**します。

- ▮マークは1分で1個ずつ左から消えていきます。また、本体表示部の録画表示が点滅します。最後の▮マークは点滅し合計5分経過するとテープ保護のため、自動的に録画が停止します。

一時 停止
▮▮▮▮▮

## 2

一時停止/静止 を**もう一度**押すと、録画を再開します。

- **録画ボタン**を押しても録画は再開できます。
- 一時停止が**5分以上**続くと、テープ保護のため**録画**は**停止**されます。

録 画

標 準



録画モードについて

■ リモコンの標準／3倍ボタンで録画モードを選びます。

■ 画質、音声を優先するときは標準、録画可能時間を優先するときは3倍で録画してください。
ただし3倍で録画すると画質／音質は、標準より劣ります。

録画中に録画チャンネルを変えるには…

■ 一時停止／静止ボタンを押してから選局ボタンで変えます。

録画中にテープが終わると…

■ 自動的にテープを巻戻し、排出します。

録画中にテレビ/DVDを見るには…

■ テレビを見るときは、テレビ側のチャンネルでお好きな番組を選択してください。

■ DVDを見るときは、DVDボタンを押してください。

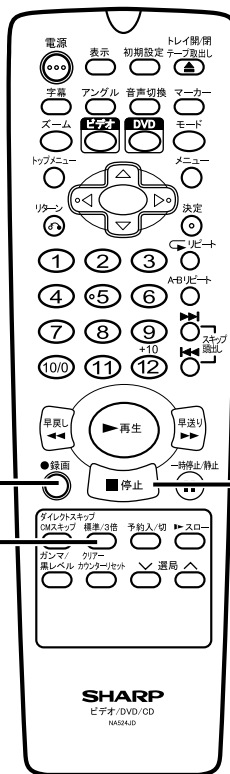
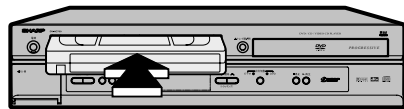
# ビデオに録画する

## ワンタッチタイマー録画

簡単・手軽に録画を始めることができ、録画時間を30分単位で最大8時間まで設定できます。
テレビを見ている途中で「電話がかかってきた」「急にお客様が来られた」「録画中に外出する用事ができた」といったときに便利です。

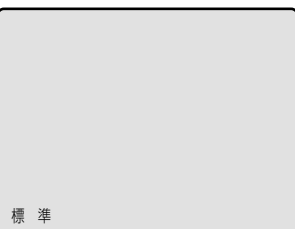
● ワンタッチタイマー録画をするには…

準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

### 1

- ツメの折れていないテープを入れます。
（ツメが折れている場合は録画できません。）

### 2

標準/3倍 を押して**録画モード**を合わせます。

- **標準(SP)モード**
画質を優先したいとき
- **3倍(EP)モード**
録画時間を長くしたいとき

標　準

### 3

●録画 を**1回**押すと**通常の録画**になります。

録 画 0：30

標　準

- ●録画 を押すたびに**30分単位**で録画時間が加算されます。
- **ツメ**の折れたテープが入っている場合、テープは出てきます。
- 録画時間が終了すると自動的に電源が切れます。その後ビデオを使用する場合は、本体の ■停止 ≜テープ取出し 、またはリモコンの 予約入/切 を押してください。
- ワンタッチタイマー録画中は本体表示部のタイマーセット表示と録画表示が点灯します。

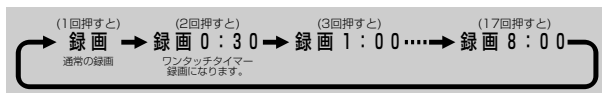
録画時間セットについて

- 本体の録画ボタンを押すたびに、30分単位最大8時間まで、録画時間をセットできます。
- 画面表示は次のように変わります。

(1回押すと) 録 画 → (2回押すと) 録 画 0：30 → (3回押すと) 録 画 1：00 ····→ (17回押すと) 録 画 8：00

通常の録画　ワンタッチタイマー録画になります。

### 4

■停止 を押すと**ワンタッチタイマー録画**は止まります。

ちょっと一言！

■ ワンタッチタイマー録画中は、録画ボタンと停止ボタン以外は働きません。一時停止などもできません。
■ ワンタッチタイマー録画中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。
■ ワンタッチタイマー録画中に停電があると、録画が停止して電源が切れます。通電後も録画は再開しません。

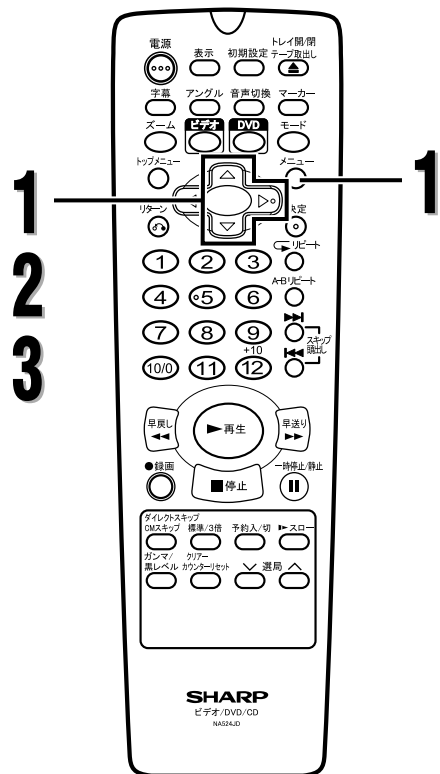
録画時間表示について

■ ワンタッチタイマー録画が始まると、録画時間表示は1分単位でカウントダウンしていき、残りの録画時間表示となります。(残りの録画時間を確認するには表示ボタンを押してください。)(58ページ)

## 録画予約

あらかじめ予約した開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると電源が切れます。
1年以内の8つの番組の録画、または毎日録画、毎週録画を予約できます。

● 予約番号「1」に、2004年7月16日(金曜日)、午前11時30分〜午後2時50分に放映される「7」チャンネルの番組を、録画モード3倍で録画するには…
(時刻設定をしないと録画予約できません。)

準備：本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。
ツメの折れていないテープを入れます。

### 1

メニュー でメニュー画面を表示させます。

で次の画面へ移ります。

### 2

• 予約番号を1にします。

で

予約番号を選びます。

で次の項目へ移ります。

| 予約 | 録画日 | 開始／終了 | チャンネル |
|---|---|---|---|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

選ぶ：▲／▼　決める：▶　終る：メニュー

＊予約番号1が選択されている時に▲ボタンを押すと予約番号8を選択できます。

### 3

• 録画日を7月16日(金曜日)にします。

で

月を選びます。

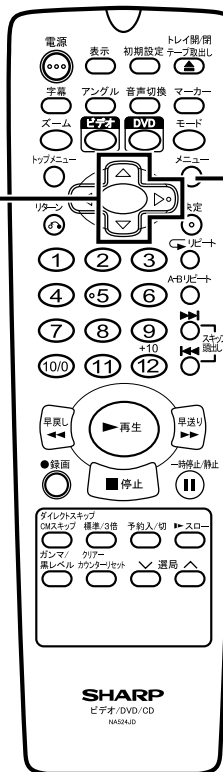
で毎週・毎日録画が選べます。

7月…12月…6月 ⇔ 毎週 日曜日…毎週 土曜日 ⇔ 毎日 月曜日ー金曜日

※毎日予約は月曜日から金曜日までの毎日となります。
土曜日、日曜日の番組を予約録画するには、毎週録画を設定してください。

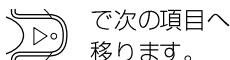
で次の項目へ移ります。

• 日についても同様の操作で設定します。(曜日は自動的に変わります。)

次ページへつづく

## 4

- **開始時刻**を**午前11時30分**にします。

**開始時刻**の**午前**を選びます。

で次の項目へ移ります。

- **時**／**分**についても同様の操作で設定します。

## 5

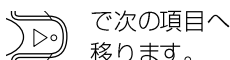
- **終了時刻**を**午後2時50分**にします。

**終了時刻**の**時**を選びます。

で次の項目へ移ります。

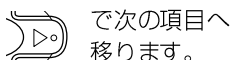
- **分**についても同様の操作で設定します。

予約 番号 1
録 画 日 7月 16日 金曜日
開始 時刻 午前 11時 30分
終了 時刻 午後 2時 30分
チャンネル

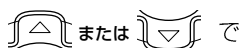
予約 番号 1
録 画 日 7月 16日 金曜日
開始 時刻 午前 11時 30分
終了 時刻 午後 2時 50分
チャンネル
録画モード
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

- **終了時刻は開始時刻から12時間以内となりますので、午前/午後は自動的に設定されます。**

## 6

- **チャンネル**を**7**にします。

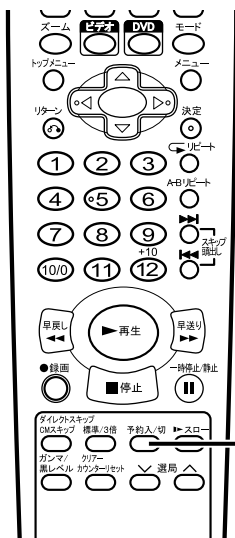
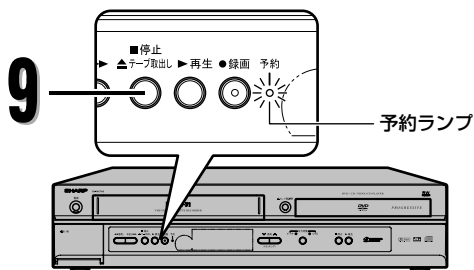
**チャンネル**を選びます。

で次の項目へ移ります。

## 7

- **録画モード**を**3倍**にします。

**録画モード**を選びます。

- **標準モード**
  画質を優先したいとき
- **3倍モード**
  録画時間を長くしたいとき

予約 番号 1
録 画 日 7月 16日 金曜日
開始 時刻 午前 11時 30分
終了 時刻 午後 2時 50分
チャンネル 7
録画モード 3倍
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

で終了し、通常画面に戻ります。

## 8

予約入/切 を押すと予約スタンバイ（タイマー待機中）状態になります。

本体の予約ランプが点灯します。

## 9

録画予約動作中に録画を止めるには、本体の

■停止 ⏏テープ取出し を押します。

- 録画予約動作中および予約スタンバイ中の電源ボタンは、DVDの電源のオン/オフを行います。また、録画予約動作中にDVDを使用する場合は、リモコンのDVDボタンを押してから操作してください。（DVDランプ点灯）
- 録画予約設定後に予約内容の修正/取り消しをするには、52～53ページをご覧ください。

**予約録画完了後の本機のご使用について**

予約録画終了後に本機の予約ランプが点滅します。これは全ての予約録画が完了し、次の予約が入っていないことを示しています。このとき、電源はオフとなっておりますので、再び本機をご使用になるには再度リモコンの予約入／切ボタンまたは本体の停止／テープ取出しボタンを押し、予約ランプの点滅が解除されたことを確認してください。



ちょっと一言!

■ 時刻が合っていることを確認してください。（録画予約は、時刻を合わせていないと設定できません。）時刻設定が行われていない場合、録画予約を選ぶと時刻設定の画面になります。
■ ツメの折れていないビデオカセットテープを入れてください。
■ ツメ折れテープを入れ予約設定を行った場合、予約スタンバイ状態になるとテープが排出されます。ツメの折れていないビデオカセットテープを入れ直してください。
■ 手順3～6の設定では、操作してから8秒後に次の設定へ自動的に移ります。
■ 初めから設定が合っているときは、▶ボタンを押すと次の操作に進むことができます。
■ リモコンの◀ボタンを押すことにより1つ前の操作に戻ることができます。

**録画予約セット後は…**

■ 録画開始時刻までは電源が切れています。録画開始時刻までに本機を使用するときは、リモコンの予約入／切ボタン、または本体の停止／テープ取出しボタンを押し、予約スタンバイを解除してください。本機を使用されたあとは、必ずリモコンの予約入／切ボタンを押して予約スタンバイにしてください。（DVDを使用する場合は、予約スタンバイを解除しなくても操作できます。）
■ リモコンの予約入／切ボタンで予約スタンバイ状態にした後DVDを使用しない場合は、電源ボタンでDVDの電源を切ってください。
■ 録画予約動作中にテープが最終端になると、自動的に録画を停止し、テープを排出して電源が切れます。（テープは巻戻しされません。）新しいテープを挿入すると、録画を再開します。
■ 録画予約動作中は、本体の停止／テープ取出しボタンを押すと録画が止まります。

**予約した時間が重なると…**

■ 同じ時間に予約が重なっている場合は、録画時刻の早いほうを優先します。
たとえば下図のような予約の場合、予約番号1の番組が7時から10時まで録画されたあと、予約番号2の番組が10時から11時まで録画されます。

■ スポーツ中継などで番組がずれると予想される場合は、予約終了時間を長めにセットしておくことをおすすめします。

## 予約内容の確認

録画予約設定後に予約内容を確認できます。

### ● 一覧表で確認するには…

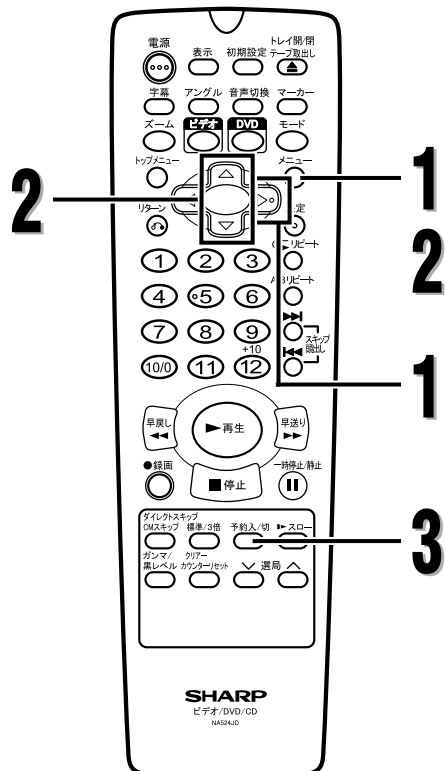
準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れる。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの予約入／切ボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。



**1**

メニュー でメニュー画面を表示させます。

▷ で次の画面へ移ります。

**2**

• 予約内容が一目で確認できます。

△ または ▽ を押していくと、**予約番号4以降**を確認することができます。

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

**3**

予約入/切 を押して予約スタンバイにします。

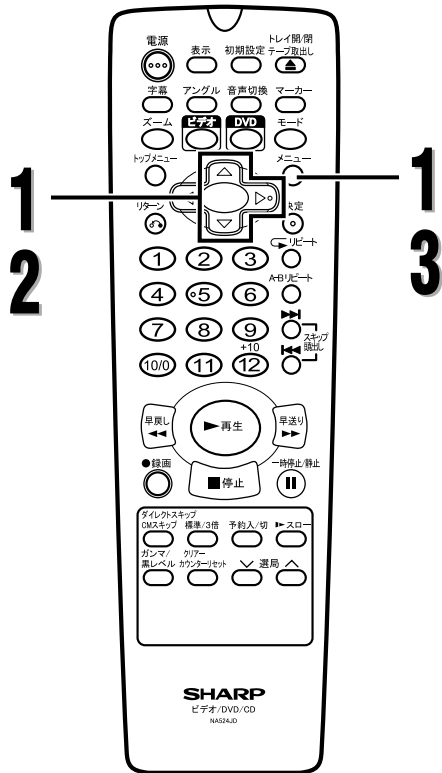
ちょっと一言！

■ 予約内容の確認後は、必ずリモコンの予約入／切ボタンを押して、予約スタンバイの状態にしてください。

## 留守録リターン

すべての録画予約終了後、自動的に最初の録画開始位置までテープを巻戻し電源が切れます。

**準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。**
**本機の電源を入れる。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの予約入／切ボタンを押してください。）**
**リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

### 1

メニュー で メニュー画面を表示させます。

△ または ▽ で

**留守録リターン**を選びます。

▷ で次の画面へ移ります。

### 2

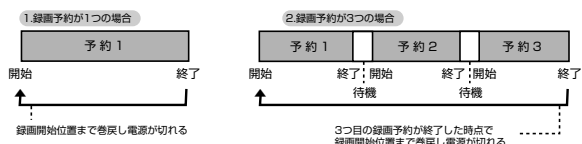
▷ で**入**／**切**を選びます。

留守録リターン

切

決める：▶
終る：メニュー

### 3

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

■ 毎日毎週予約（45ページ）、サテライト予約（53ページ）、ワンタッチタイマー録画（44ページ）では留守録リターン機能は働きません。
■ 予約録画の途中でテープの残り時間がなくなり録画が終了したときは留守録リターンが働きません。

ビデオ編　留守録リターン

## 予約延長設定

スポーツ中継などの番組延長で、後の番組の放送時間がずれた場合に、簡単に予約時間を変更することができる機能です。

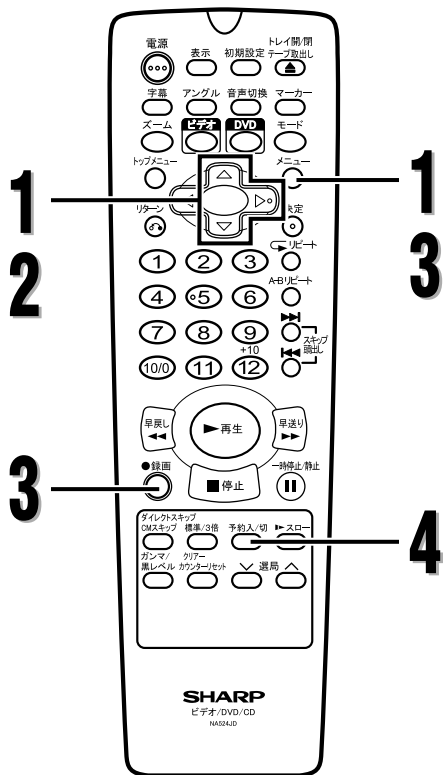
● 録画予約が開始されていない場合…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れる。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの予約入／切ボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。



### 1

メニュー でメニュー画面を表示させせます。

録画予約
**録画延長**
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

△ または ▽ で

**録画延長**を選びます。

▷ で次の画面へ移ります。

### 2

△ または ▽ で

**時間延長**をしたい予約番号を選びます。

| 予約 | 録画日 | 開始／終了 | チャンネル |
|---|---|---|---|
| 1 | 7／16 | 午前11：30<br>午後 2：50 | 7<br>標準 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

選ぶ：▲／▼　決める：▶　終る：メニュー

▷ で次の画面へ移ります。

### 3

●録画 を押すたびに

開始／終了時刻が**10分間ずつ**延長されます。

予約 番号　1
録 画 日　7月 16日 金曜日
**開始 時刻**　午前 11時－40分
終了 時刻　午後 3時 00分
チャンネル　7
録画モード　標準
延長：録画
戻る：一時停止
終る：メニュー

• リモコンの録画ボタンで時間延長した後に、リモコンの一時停止／静止ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

### 4

予約入／切 を押すと予約スタンバイになります。

ちょっと一言！

■ 毎日、毎週録画で設定された予約の場合は、予約延長設定はできません。
■ 予約時間の延長中に開始時刻が次の日になった場合は、自動的に録画日／曜日が次の日に替わります。

● 録画予約が開始されている場合…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

**1**

**録画延長**を選びます。

**2**

**時間延長**をしたい予約番号を選びます。

で次の画面へ移ります。

**3**

終了時刻が**10分間ずつ**延長されます。

- **リモコンの録画ボタンで時間延長した後に、リモコンの一時停止／静止ボタンを押すと、時間延長をする前の元の時間に戻すことができます。**

で終了し、通常画面に戻ります。

■ 録画中の予約時間を延長した場合は、自動的に録画モードが3倍に変更されます。また、リモコンの一時停止／静止ボタンでもとの時間に戻された場合も3倍モードのままになります。

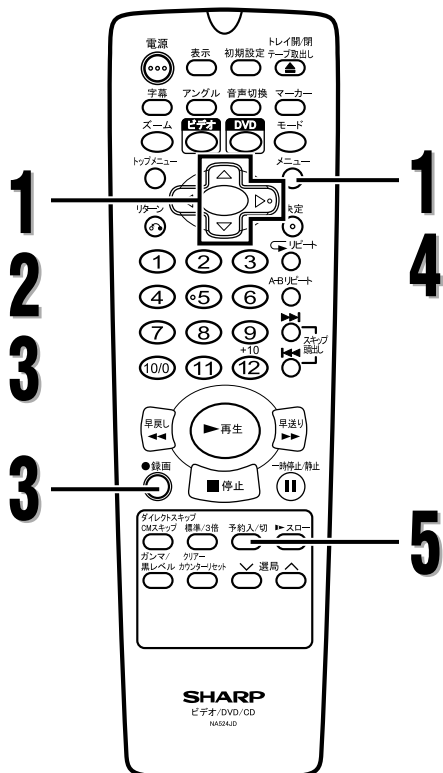
## 予約内容の修正・取り消し

録画予約セット後に予約内容を修正／取り消すことができます。

### ● 予約内容を修正するには…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れる。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの予約入／切ボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。



**1**

メニュー でメニュー画面を表示させます。

▷ で次の画面へ移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

**2**

△ または ▽ で修正したい**予約番号**を選びます。

▷ で次の画面へ移ります。

| 予約 | 録画日 | 開始／終了 | チャンネル |
|---|---|---|---|
| 1 | 7／16 | 午前11：30<br>午後 2：50 | 7<br>標準 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

選ぶ：▲／▼　決める：▶
キャンセル：◀　終る：メニュー

**3**

▷ で修正したい項目まで送ります。

△ または ▽ で修正します。

▷ で決定します。

予約 番号　1
録 画 日　7月 16日 金曜日
開始 時刻　午前 11時 30分
終了 時刻　午後 2時 50分
チャンネル　7
録画モード　標準

予約 番号　1
録 画 日　7月 16日 金曜日
開始 時刻　午前 11時 30分
終了 時刻　午後 2時 50分
チャンネル　7
録画モード　3倍
選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

**4**

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

**5**

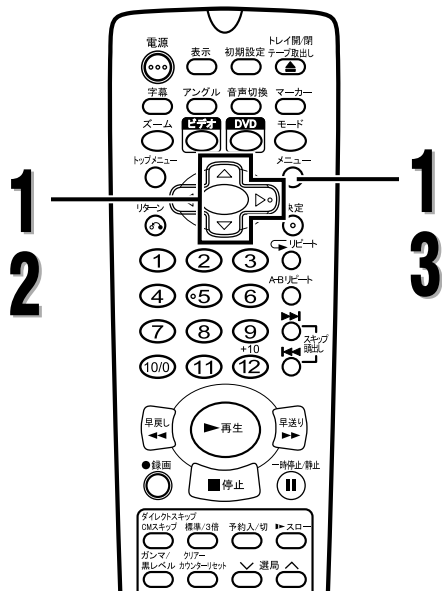
予約入／切 を押して、録画スタンバイ状態にします。

ちょっと一言！

■ 予約内容の修正／取り消し後は、必ずリモコンの予約入／切ボタンを押して、予約スタンバイ状態にしてください。

● 予約内容を取り消しするには…

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
本機の電源を入れる。（予約スタンバイ状態の場合は、リモコンの予約入／切ボタンを押してください。）
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。

**1**

メニュー でメニュー画面を表示させます。

▷ で次の画面へ移ります。

録画予約
録画延長
留守録リターン
ピクチャーセレクト
サテライト予約
時刻設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定変更
選ぶ：▲／▼
決める：▶
終る：メニュー

**2**

△ または ▽ で取り消したい**予約番号**を選びます。

◁ で予約内容を取り消します。

| 予約 | 録画日 | 開始／終了 | チャンネル |
|---|---|---|---|
| 1 | 7／16 | 午前11：30<br>午後 2：50 | 7<br>標準 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

選ぶ：▲／▼　決める：▶
キャンセル：◀　終る：メニュー

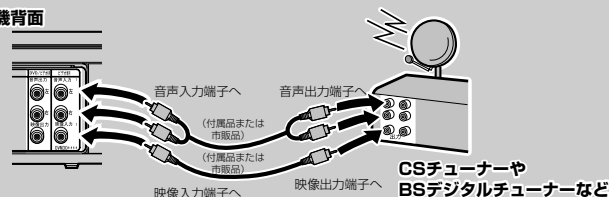
**3**

メニュー で終了し、通常画面に戻ります。

ちょっと一言！

■ 録画予約が開始されている途中で予約を取り消すには、本体の停止／テープ取出しボタンを押し、その後、手順1から操作してください。

## サテライト予約

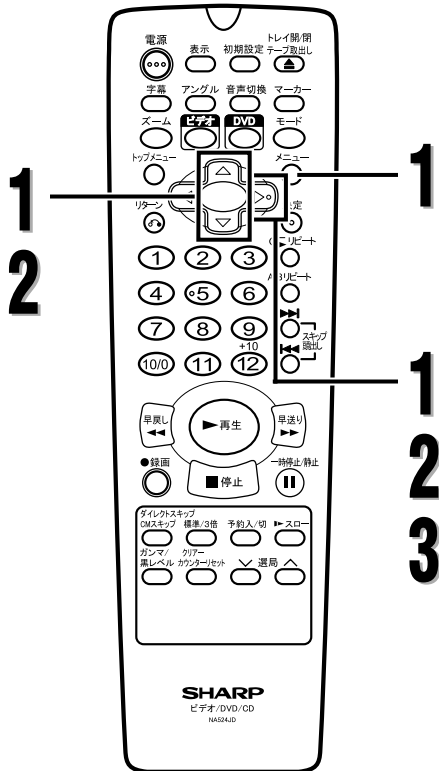
24時間以内に始まるCSやBSデジタル放送などの外部入力に連動して録画するときに便利です。背面入力端子(ライン1)に接続してください。

● サテライト予約の設定をする前に本機とCSチューナーやBSデジタルチューナーなどを接続してください。

ちょっと一言！

■ サテライト予約は前面入力端子(ライン2)では動作しません。
■ CSチューナーやBSデジタルチューナーの信号を感知してからビデオの動作に入るため、録画開始時間は数秒間の遅れが生じる場合があります。
■ 本体の録画予約とCS番組のサテライト予約が同時刻または重なった場合、録画予約のほうが優先されます。
■ 番組によってはコピーガード機能により正しく録画されない場合もあります。
■ 録画モードはサテライト予約の設定に入る前に、標準／3倍ボタンで切り換えてください。
■ サテライト予約のスタンバイはリモコンの予約入／切ボタン、または本体の停止／テープ取出しボタンを押し、本機の電源がオンになると解除されます。
■ サテライト予約動作中に録画を止めるには、本体の停止／テープ取出しボタンを押します。

次ページへつづく

# ビデオに録画する

準備：テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を［ビデオ］にします。
リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させせます。
ツメの折れていないテープを入れます。

メニュー でメニュー画面を表示させます。

または で

**サテライト予約**を選びます。

で次の画面へ移ります。

## 2

または で

**サテライト予約**を設定する時間を合わせます。

で次の項目へ移ります。

または で

**分**を合わせます。

- はじめは現在の時刻が表示されます。

サテライト予約
午前　11時　34分

サテライト予約
午前　6時　34分

サテライト予約
午前　6時　00分

選ぶ：▲／▼
決める：▶
戻る：◀
終る：メニュー

## 3

を押します。

- **入**が表示されます。

サテライト予約
午前　6時　00分　入

## 4

- **1秒後**自動的に**サテライト予約スタンバイモード**になります。

ちょっと一言！

- ■ サテライト予約のスタンバイ中は設定された時間になると、チューナーの信号を感知させるために電源ランプが点灯します。
- ■ サテライト予約録画終了後も電源ランプは点灯したままとなります。引き続きサテライト予約録画を行わない場合や、ビデオの操作をするときは、リモコンの予約入／切ボタンを押して予約スタンバイを解除し、リモコンのビデオボタンを押してください。
- ■ 予約スタンバイを解除したときは、再度予約入／切ボタンを押してもサテライト予約はスタンバイモードにはなりませんので、手順1〜3をやり直してください。

## 音声多重放送について

本機をステレオテレビやお手持ちのステレオと接続すると、ステレオ放送や二重音声(2カ国語)放送を楽しめます。

### ● 送られてくる音声の画面表示について

- **表示ボタン**を押すとテレビ画面右上に音声モードが表示され確認できます。

### ● ステレオ放送を受信したときや、Hi-Fi録画されたテープを再生したときは…

- 自動的に**ステレオモード**に切り換わります。
- **音声切換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**ステレオ→左音声→右音声→モノラル**に切り換わります。

| 音声モード | ステレオ放送受信時<br>Hi-Fiテープ再生時 | 画面表示 |
|---|---|---|
| ステレオ | ステレオで聞こえる | ステレオ |
| 左（主） | 両方のスピーカーから<br>左の音声が聞こえる | 左音声 |
| 右（副） | 両方のスピーカーから<br>右の音声が聞こえる | 右音声 |
| ノーマル | モノラルで聞こえる | モノラル |

### ● 二重音声放送(2カ国語放送)を受信したときは…

- 音声は自動的に**二重音声モード**に切り換わります。
- **音声切換ボタン**を押すことにより音声と音声表示が、**主音声→副音声→主：副**に切り換わります。
  このとき音声モードが記憶され、次に二重音声放送を受信すると前に記憶した音声モードに自動的に切り換わります。

| 音声モード | 二重音声放送受信時 | 画面表示 |
|---|---|---|
| ステレオ | 左から主音声（日本語）<br>右から副音声（外国語）が聞こえる | 主：副 |
| 左（主） | 両方のスピーカーから<br>主音声（日本語）が聞こえる | 主音声 |
| 右（副） | 両方のスピーカーから<br>副音声（外国語）が聞こえる | 副音声 |

（2カ国語放送が録画されたテープを再生するときも同様です。）

### ● 本機は常に次の2つの方法で録音します。

**Hi-Fi録音**

- 音声専用回転ヘッドによる**FM録音方式**を使い、すぐれたHi-Fi音声で録音や再生をします。
  **Hi-Fi録音**では、ステレオ放送はステレオで二重音声(2カ国語)放送は**左に主音声、右に副音声**が記録されます。
  モノラル放送は、**左右に同じ音声**が録音されます。

**ノーマル録音**

- 従来のビデオと同じ録音方式で**モノラル**で録音します。
  ノーマル録音では、ステレオ放送はモノラルで録音され、**二重音声(2カ国語)放送は主音声(日本語)**だけが録音されます。録音レベルは、自動的に適切なレベルに設定されます。

ちょっと一言！

■ Hi-Fi録音以外のテープを再生すると、自動的にノーマル音声になります。
■ Hi-Fi録音されたテープを、Hi-Fi方式でないビデオデッキで再生した場合はノーマル音声になります。

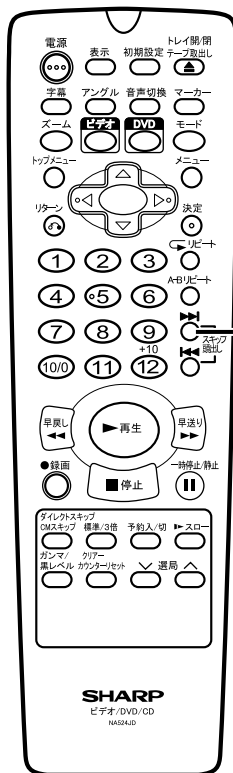
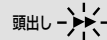
## テープの頭出し

インデックス記録された番組の頭出しをします。
インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。（録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。）

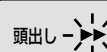
● 2つ先の番組を頭出しする場合…

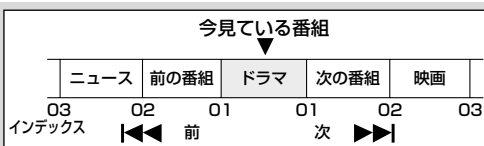
**1**

スキップ/頭出し（▶▶|）を押すと
頭出し検索が始まります。

**2**

スキップ/頭出し（▶▶|）で**02**を選びます。

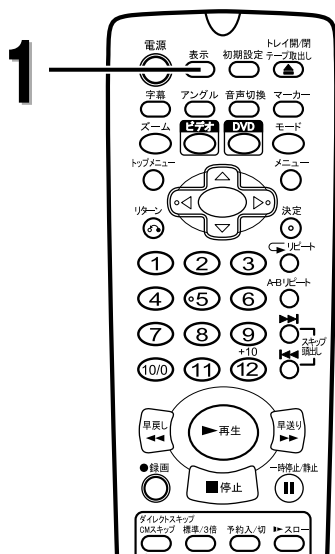
- スキップ/頭出し(▶▶|)ボタンを押しすぎて、02を越えてしまった場合は、**スキップ/頭出し(|◀◀)ボタン**で数字を減らすことができます。
- 頭出し検索中にインデックス信号を検知すると、自動的に数字が減ります。
- **頭出しは、最大20まで設定できます。**

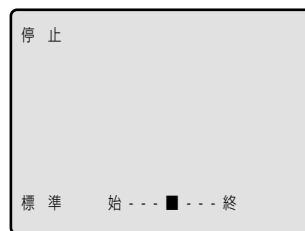
**3**

- 設定した位置にくると、自動的に**再生**がはじまります。

頭出しについて

■ インデックス信号は録画開始と同時に自動的にテープに記録されます。ただし、録画中の一時停止から録画を再開した場合は記録されません。
■ テープの巻き始めに記録されているインデックスや、録画時間が1〜2分の短い番組の場合は、検知されないことがあります。
■ 手順1でスキップ/頭出し(|◀◀)ボタンを押すと、前の番組方向に頭出し検索をすることができます。スキップ/頭出し(|◀◀)ボタンまたはスキップ/頭出し(▶▶|)ボタンを押すたびにお好みのインデックス番号を選ぶことができます。
■ 再生開始位置は若干前後する場合があります。

## テープポジション

現在のテープ位置を画面に表示します。録画前にテープ残量を調べるのに便利です。

**準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

### 1

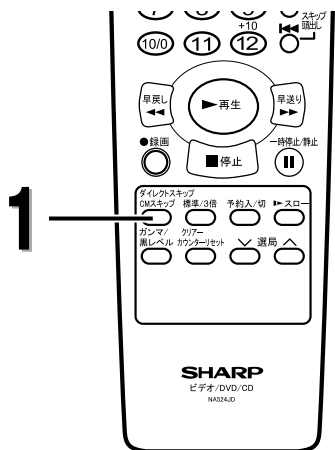
表示 を押します。

- 現在のテープの位置が■で表示されます。
- 早送り/巻戻しを行うと自動的にテープポジション表示になります。（ただし、カウンター/時計表示の場合は、テープポジション表示にはなりません。）
- テープポジション表示中に再生を行うと、テープポジション表示は消えます。

ちょっと一言！

■ 表示ボタンを繰り返し押すと、テープポジション/カウンター/時計表示の順に切り換わります。詳しくは、58ページをご覧ください。
■ 録画や再生中にテープポジション表示に切り換えた際、テープ位置を示す「■」が表示されるまで約2分ほどかかる場合があります。
■ T-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、テープ位置が正しく表示されない場合があります。

## CMスキップ

コマーシャルを早送りさせたいときなどに、テープを30秒単位で早送り再生します。（音声はでません。）

**準備：リモコンのビデオボタンを押して、本体のビデオランプを点灯させます。**

### 1

ダイレクトスキップ CMスキップ を**再生中**に押します。

- 押すたびに**約30秒**ずつ加算されます。（最大**180秒**の早送り再生ができます。）
- **1回**押すと：**約30秒**早送り再生します。
- **2回**押すと：**約60秒**早送り再生します。
- **3回**押すと：**約90秒**早送り再生します。

### 2

- 指定された秒だけ早送り再生すると通常の再生に戻ります。

ちょっと一言！

■ CMスキップは再生時以外は操作できません。

ビデオ編 テープポジション／CMスキップ